

第二次小平市のスポーツ振興の基本方針

【案】

平成28年度
小 平 市

はじめに（基本方針の策定にあたって）

スポーツは、人格の形成、体力の向上、健康長寿の礎であるとともに地域の活性化を図るなど明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で欠かせないものとなっています。

小平市では、平成21年度に「小平市のスポーツ振興の基本方針」を策定し、多様化する市民ニーズに即したスポーツ事業を展開する一方で、市のスポーツ振興を行政主導から“地域に根ざしたスポーツ活動団体”等に委ねていく、地域連携・協働体制への仕組みづくりに転換をするなど様々な取組を進めてまいりました。

また、平成23年制定の「スポーツ基本法」では、スポーツの基本理念として、人々がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営む権利に鑑み、スポーツを生涯にわたり、あらゆる機会において自主的、自律的に行う事ができるよう推進することが求められています。

2020年には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も決まり、世界で初めて2回目のパラリンピック競技大会を開催する都市ともなりました。また、その前年にはアジアで初のラグビーワールドカップの開催が決まっていることから、市民のスポーツに対する意識や気運は高まっています。

このような状況下において、小平市としても今までのスポーツ振興の伝統と歴史を守りながら東京オリンピック・パラリンピック競技大会を大きなチャンスと捉え、新たな視点でのスポーツ施策の推進を図るため、「第二次小平市のスポーツ振興の基本方針」を策定しました。

本基本方針では、「する」「みる」「ささえる」という、人とスポーツの関わり方に着眼し、小平市第三次長期総合計画で掲げた「健康で、はつらつとしたまち」の実現に向け、地域の団体、スポーツ関係団体、学校、民間事業者など、皆様との協働・連携のもと だれもが身近な地域でスポーツに親しめるよう、さらなるスポーツ振興に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本基本方針の策定に当たり、ご尽力を頂きました基本方針策定検討委員会の委員の皆様をはじめ、アンケート調査にご協力いただきました市民の皆様、並びに貴重なご意見をお寄せいただきました多数の皆様に心から感謝申し上げます。

平成29(2017)年3月

小平市長 小林 正 則

目 次

第 1 章 小平市のスポーツ振興の基本方針の概要..... 1

1. 基本方針策定の趣旨 2
2. スポーツ振興に関する国や東京都及び小平市の動向 3
3. 基本方針の位置づけ 4
4. 対象期間 4
5. 基本方針におけるスポーツの捉え方 5
6. 基本方針策定に関わる視点 6

第 2 章 スポーツ振興の現状と課題 7

1. 小平市のプロフィール 8
2. 小平市のスポーツ環境 9
3. スポーツに関する小平市民の現状 14
4. これまでの小平市のスポーツ施策の進捗状況 23
5. 小平市のスポーツ振興の課題 24

第 3 章 小平市のスポーツ振興の基本方針 28

- 基本方針の体系と取組項目 29
- 基本方針 1 だれもがスポーツに親しめる機会の充実 30
- 基本方針 2 スポーツ推進に関わる人財の育成 31
- 基本方針 3 スポーツをする場の整備・充実 32
- 基本方針 4 スポーツ活動につながる効果的な情報の発信や提供 33
- 基本方針 5 スポーツを通じた仲間づくり・地域づくり 34
- 基本方針 6 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応 35

第 4 章 基本方針の推進にあたって 38

1. 各主体に求められること 38
2. 小平市のスポーツ推進のイメージ 39

参考資料

第1章

小平市のスポーツ振興の基本方針の概要



第1章 小平市のスポーツ振興の基本方針の概要

1. 基本方針策定の趣旨

本市では、「小平市第三次長期総合計画—こだいら21世紀構想・前期基本計画—」（以下「小平市第三次長期総合計画」という。）の基本理念に基づき、平成21年度に「小平市のスポーツ振興の基本方針」（以下「前基本方針」という。）を策定しました。この前基本方針では、小平市体育協会（以下「体育協会」という。）の法人化、市民総合体育館の指定管理者制度¹の導入、東京フットボールクラブ（以下「FC東京」という。）と市との事業連携などの課題、並びに体育協会への支援や小平市スポーツ推進委員（旧：体育指導委員、以下「スポーツ推進委員」という。）及び体育協会加盟団体の育成などを明示し、実現に向けてスポーツ振興の施策を進めてきました。

昨年度、前基本方針の計画年次が終了したことから、前基本方針を発展的に継承しつつ、スポーツ基本法の施行及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）などスポーツを取り巻く状況変化、並びに国、東京都の動向を受け、第二次小平市のスポーツ振興の基本方針（以下「基本方針」という。）を本市におけるスポーツ振興の新たな指針として策定するものです。

また、本基本方針は、目指すべきスポーツ振興の方向性を明らかにするもので、具体の事業や施設の整備などの達成に必要な財源やスケジュールを詳細に示すものではなく、施策推進の基本的な考え方を示すことによって、今後、個別の施策を実施する上で踏まえるべき方針となるものです。

なお、施策の具体化にあたっては、中期的な施策の取組方針・実行プログラム及び各年度の予算によるものとします。



1 指定管理者制度：公共的な団体に限定されていた公の施設の管理・運営を民間事業者も含めた幅広い団体が包括的に代行する制度。多様化する市民ニーズに効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間事業者等が保有する能力や経験などを活用して、サービスの向上と経費の節減等を図ることを目的としています。

2. スポーツ振興に関する国や東京都及び小平市の動向

(1) 国や東京都の動向

平成 23 年 8 月に「スポーツ基本法」が施行され、「スポーツ権」の確立が掲げられたほか、スポーツの多面的な役割として、青少年の健全育成、地域社会の再生、社会・経済の活力創造などスポーツが果たす役割の重要性が示されています。この「スポーツ基本法」に基づき、文部科学省は平成 24 年 3 月に「スポーツ基本計画」を策定しています。「スポーツ基本計画」では、「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会」を目指す姿として、スポーツ推進の基本方針や総合的かつ計画的に取り組むべき施策を示しています。

また、平成 27 年 10 月には、文部科学省や厚生労働省など複数の省庁が担っていた役割、施策を総合的に調整し、スポーツ行政を一体的に推進するため、スポーツ庁が設置されました。

東京都は、平成 24 年 3 月に「東京都障害者スポーツ振興計画」を策定し、障がいのある人もない人も、だれもがスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」を目指すとして、障がい者スポーツ振興の方向性を示しています。また、平成 25 年 3 月に「東京都スポーツ推進計画」を策定し、「『スポーツの力をすべての人に』—誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する『スポーツ都市東京』を実現—」を基本理念として、実現に向けた5つの戦略を掲げています。

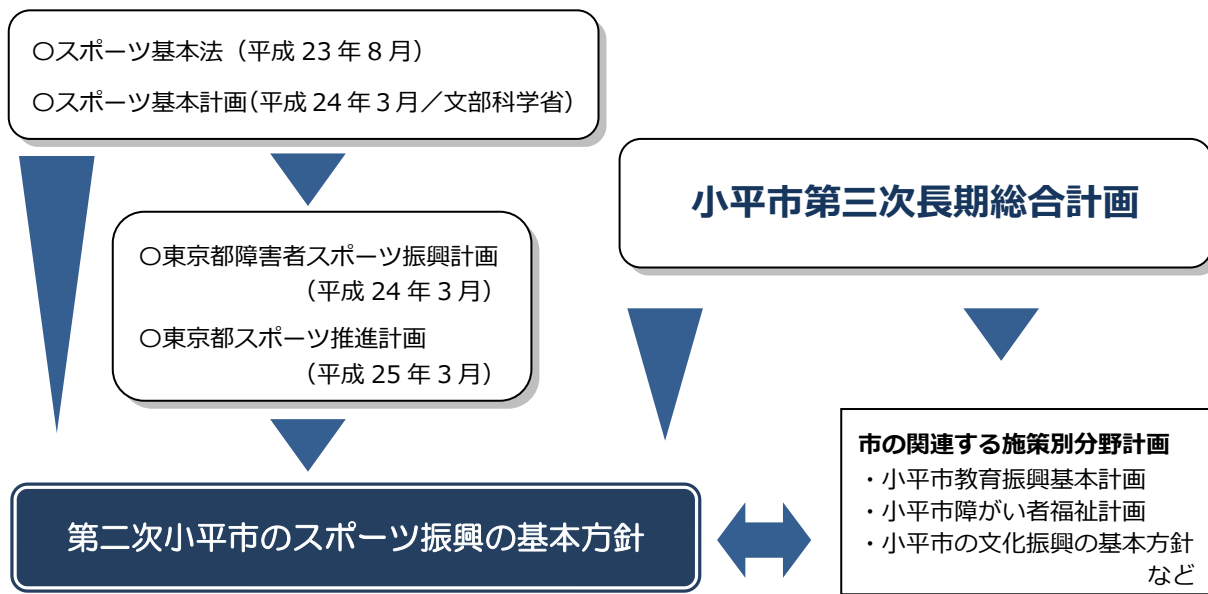
(2) 小平市の動向（スポーツに関する事務の組織改正）

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」(平成 19 年法律第 97 号)に基づき、市の条例を定めて平成 27 年 4 月の組織改正に伴い、教育委員会が所管するスポーツに関する事務(学校における体育に関するものを除く。)を市長部局に移管しました。

これは、少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化など、市民のスポーツとの関わり方が多様化していることに対応するため、市民や民間事業者、大学等との連携、協働を図りつつ市長部局における広範囲な施策との連携を強め、市民生活の質の向上や地域社会の活性化など「健康で、はつらつとしたまち」の実現に向けた取組を展開していくことを目的としています。

3. 基本方針の位置づけ

本基本方針は、スポーツ基本法第10条に準拠して策定するもので、「小平市第三次長期総合計画」に基づき、市のスポーツ振興に関する基本的な考え方を示し、今後のスポーツ振興の指針として位置づけます。



【スポーツ基本法】

（地方スポーツ推進計画）

- 第十条 都道府県及び市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところによりその長がスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（以下「特定地方公共団体」という。）にあつては、その長）は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「地方スポーツ推進計画」という。）を定めるよう努めるものとする。
- 2 特定地方公共団体の長が地方スポーツ推進計画を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、当該特定地方公共団体の教育委員会の意見を聴かなければならない。

4. 対象期間

本基本方針の対象期間は、平成29年度から平成32年度までの4年間としています。

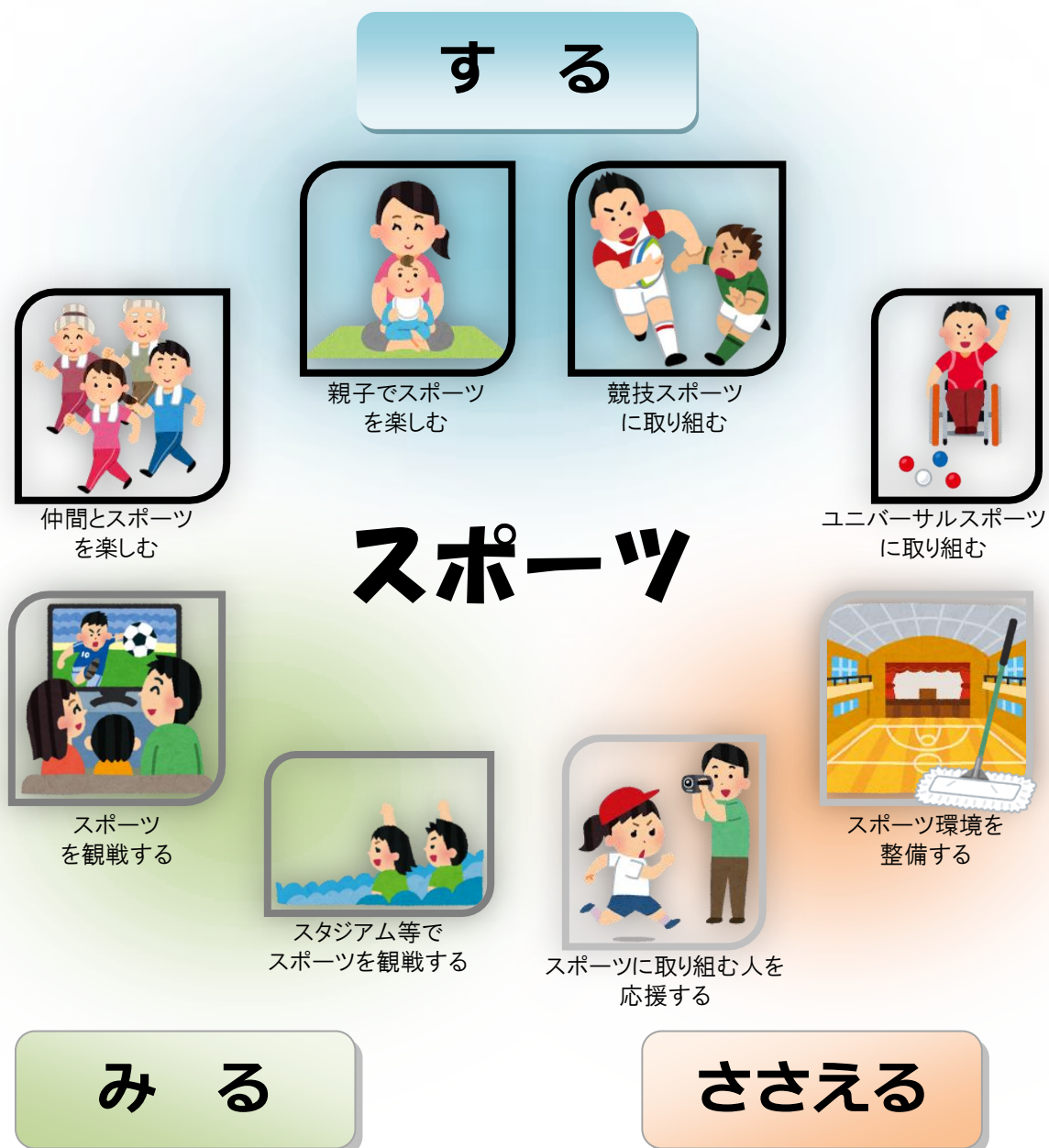
第二次小平市のスポーツ振興 の基本方針	H29 2017年	H30 2018年	H31 2019年	H32 2020年	2021年
<参考> 主な国際スポーツ大会	平昌冬季 オリンピック・ パラリンピック		ラグビー ワールドカップ	東京 オリンピック・ パラリンピック	

5. 基本方針におけるスポーツの捉え方

小平市では、健康志向の高まりもあってスポーツや健康づくり、生涯学習、レクリエーション活動など地域において市民の様々な活動が盛んに行われています。

今後も、スポーツが市民の生活により身近なものとなっていくためには、運動やスポーツに関心がなかった人も日常的に身体を動かし、市民のだれもが気軽に楽しむことができるよう、スポーツの概念を幅広く捉えることが大切だと考えます。

このことから、本基本方針では、スポーツを競技スポーツだけではなく、健康づくりなど、目的を持った身体活動の全てをスポーツとして扱います。さらに市民のスポーツとの関わりには、スポーツ観戦などの「みる」スポーツ、地域で活動している指導者又はコーチ若しくはボランティアとしてスポーツ大会の運営などに携わる「ささえる(育てる)」スポーツも含まれます。



6. 基本方針策定に関わる視点

スポーツ振興に関する国や東京都等の動向を踏まえ、今後の小平市のスポーツを推進していくためには、以下のような視点が求められると考えています。

視 点	方向性
ライフステージに応じた生涯スポーツの振興	子育て・働き盛り世代の運動不足による生活習慣病等への対応や高齢者の介護予防、心身の健康維持への対応など、市民のライフステージに応じたスポーツを推進します。
子どもの体力向上	子どもの遊びの場の減少、スポーツをしない子どもの体力低下、スポーツをする、しない子どもの2極化への対応など、学校や地域と連携して子どもの体力向上の取組を推進します。
障がい者※ ¹ スポーツの振興	障がいのある人の運動機会の創出や障がい者スポーツ、ユニバーサルスポーツ※ ² 普及への対応など、だれもがスポーツに親しめる環境づくりを推進します。
地域スポーツの振興 (トップアスリートとの交流含む)	多世代間の交流事業など、多くの市民が参加しやすい事業を展開し、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を推進します。
スポーツをささえる人財※ ³ 組織の充実	多様な市民のスポーツとそれらをささえる人財の育成やボランティア制度のしくみ、また関係団体や NPO 等との連携・協働を推進します。
スポーツをする場の整備と まちづくり	公共のスポーツ施設だけではなく、公園・歩道等、市民の生活に身近な場所でもスポーツに親しめる環境づくりを推進します。
東京2020大会開催	東京2020大会開催を契機とした市民のスポーツへの興味・関心の向上、スポーツを通じた異なる文化への理解を促進します。

※¹ 本基本方針では固有名詞での表現を除き、原則として「障がい者」という表現を使用します。

※² 高齢者、障がい者、大人、子ども、スポーツが得意な人やそうでない人も、誰もが一緒に参加し、活動できるスポーツのことをいいます。

※³ 「人材」の意味を発展させて、「人」＝財産と捉えています。

◆ライフステージとスポーツの関わり

乳 児	幼 児	小学生	中学生	高校生 大学生	働き盛り世代 子育て期	高齢者
親子遊び、外遊び 集団遊びなど		学校体育、運動部活動、 クラブチームなど			競技、趣味、 体力づくり、 仲間づくりなど	介護予防、地域 交流、ボランテ ィア活動など
基礎体力づくり		仲間づくり、自分の限界への挑戦			健康づくり、生活習慣病の予防	

第2章

スポーツ振興の現状と課題



第2章 スポーツ振興の現状と課題

1. 小平市のプロフィール

(1) 位置及び地勢

小平市は、東京都の多摩地域の武蔵野台地上にあり、都心の西方約26キロメートルのところに位置しています。市域の東側は西東京市、南側は小金井市と国分寺市、西側は立川市、北側は東久留米市、東村山市及び東大和市と接しており、比較的平坦な地形が特徴となっています。

市域は、東西約10キロメートル、南北約4キロメートル、面積は20.51平方キロメートルであり、多摩地域の26市中10番目の広さとなっています。

市内には7つの鉄道駅があり、JR武蔵野線、西武拝島線、西武国分寺線、西武多摩湖線、西武新宿線が通っています。新宿まで約30分で結ぶことなどから、都心部のベッドタウンとしての性格を有しています。また、玉川上水、野火止用水など過去から受け継がれてきた豊かな自然環境に恵まれ、それらを生かした小平グリーンロード(市内一周緑道)があり、市民の散歩道として親しまれています。

(2) 人口及び世帯数

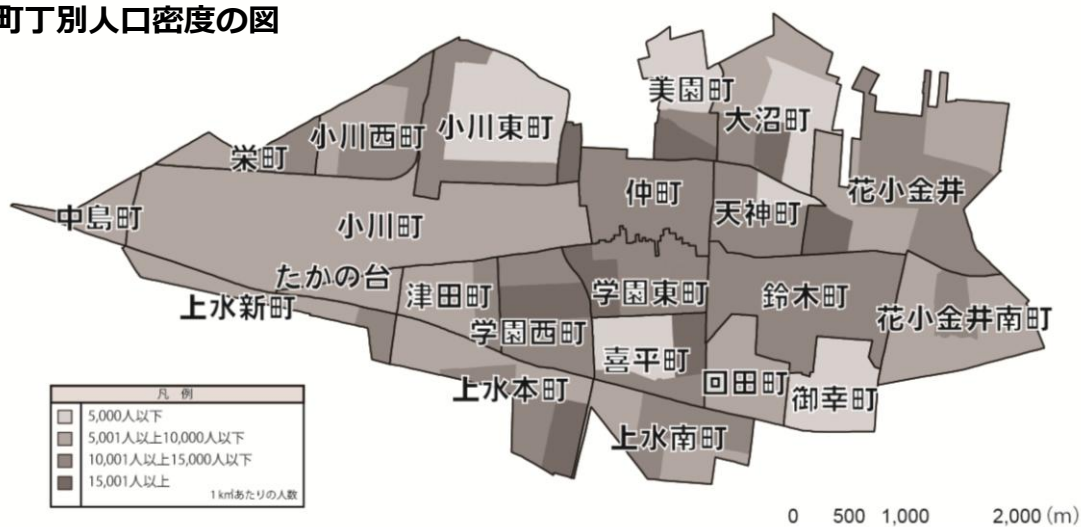
小平市の人口は、年々増加傾向にありますが、人口減少や少子高齢化が進んでいく中で減少に転じていくものと想定されます。

	平成27年	平成22年	増減数
人口(人)	190,005	187,035	2,970
世帯数	82,888	81,784	1,104
1世帯当たりの人員(人)	2.29	2.29	0
14歳以下人口(年少人口率)	12.8%	12.8%	0
65歳以上人口(高齢化率)	22.2%※	20.0%	2.2ポイント

(「平成27年国勢調査」より)

※世界保健機構(WHO)及び国連定義では、高齢化社会7%、高齢社会14%、超高齢社会21%

■ 町丁別人口密度の図



(「小平市 平成27年版統計書」より作成)

2. 小平市のスポーツ環境

(1) 市内の公共スポーツ施設

近年は健康志向の高まりもあって生涯スポーツが盛んであり、市内の公共スポーツ施設は、スポーツ愛好者の健康増進の場として、また多くの人々の健康づくりや生涯学習、レクリエーション活動などの場として、地域における人々の多様な活動を支えています。

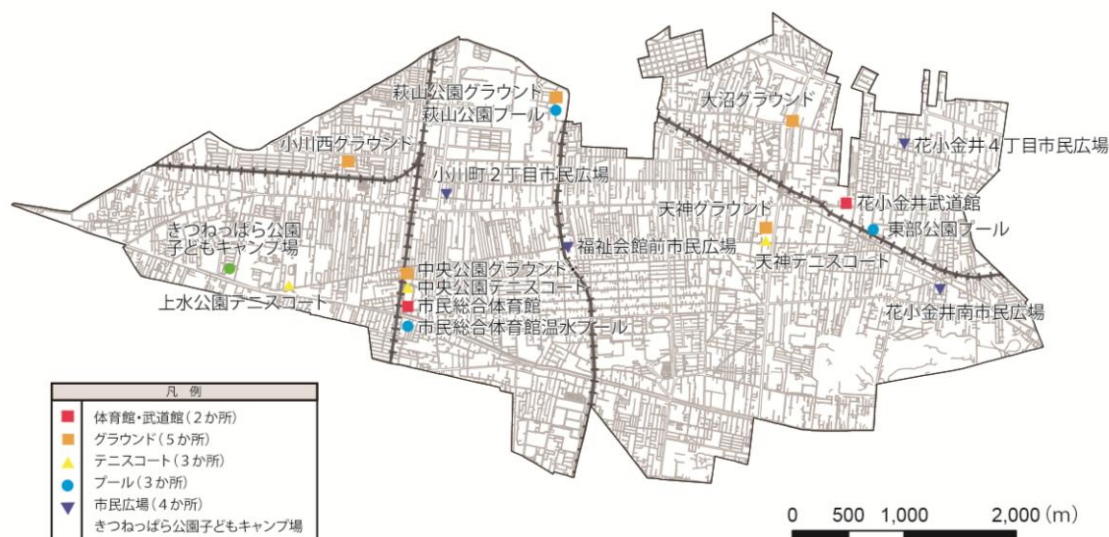
本市では、市民がスポーツを行う場所として以下の施設の整備、管理運営を行っています。

グラウンド	5か所	萩山公園グラウンド、大沼グラウンド、天神グラウンド、中央公園グラウンド(中央公園競技場)、小川西グラウンド
テニスコート	3か所	上水公園テニスコート、中央公園テニスコート、天神テニスコート
プール	3か所	萩山公園プール、東部公園プール、市民総合体育館温水プール(屋内)
市民広場	4か所	小川町二丁目市民広場、福祉会館前市民広場、花小金井南市民広場、花小金井四丁目市民広場
武道館	1か所	花小金井武道館
総合体育館	1か所	市民総合体育館
子どもキャンプ場	1か所	きつねっぱら公園子どもキャンプ場

(2) 市内の企業・民間スポーツ施設

企業所有のスポーツ施設 (グラウンド、体育館、テニスコート)	2か所、市で利用登録をした団体に開放しています。
スポーツクラブ、テニス場、ゴルフ場・ゴルフ練習場、フットサル場、個人スタジオ、武道関係道場	

■施設位置図（文化スポーツ課所管の施設）



(3) スポーツ振興事業(大会、イベント) ※文化スポーツ課が主管又は関連するもの

市民ニーズに即したスポーツ振興を図るため、体力づくりなど以下の各種大会を開催しています。

名 称 (平成28年度時点の回)	期 日	概 要	参加実績	
			年度	人数
小平グリーンロード歩こう会 (第35回)	毎年4月 第3日曜日	1周約21kmの小平グリーンロードを歩く。市内に7か所のチェックポイントを設置し、どこからでも参加できる。	平成28 27 26	230 311 247
小平～多摩湖歩け歩け会 (第41回)	毎年11月 第3日曜日	花小金井駅・小平駅・萩山駅の3か所いずれかから出発して、多摩湖まで狭山・境緑道を約4.3km～8kmを歩く。	平成28 27 26	198 (小雨)78 242
新春歩け歩けのつどい (第37回)	毎年1月 第1日曜日 (3が日除く)	市役所庁舎前で「新年のつどい」の後、東西(隔年)のコース(約8km)を歩く。	平成28 27 26	404 518 551
市民体力測定会 (体力・運動能力調査)	毎年 6月下旬	健康や体力についての理解と自身の体力の現状を知る測定会。行政上の基礎資料として測定結果をスポーツ庁へ提供している。	平成28 27 26	64 67 48
ニュースポーツデー (第44、45、46回)	毎年5月、 11月、3月 の日曜日	ニュースポーツの普及、啓発のため、多種目のスポーツを体験し、気軽に親しんでもらうイベント。	平成28 27 26	● 684 746
市民スポーツまつり (第27回)	毎年10月 中旬日曜日	中央公園グラウンドや市民総合体育館を無料開放して、様々なスポーツやアトラクションを気軽に楽しめるイベント。	平成28 27 25	3422 2903 3562
少年少女マラソン大会 (第42回)	毎年11月 第4土曜日	中央公園競技場及び周回コースを小学3・4年生1,500m、5・6年生 2,100mを走る。	平成28 27 26	518 579 629
こだいら市民駅伝大会 (第37回)	毎年2月 第1日曜日	平成18年度に復活した「市内周回駅伝大会」。全長12.4km(3.1km×4区間)を4人でたすきをつなぐ。コースは、中央公民館～青梅街道～新小平～四小通り～学園中央通り～一橋学園～中央公民館	平成28 27 26	● 127チーム 508 143チーム 572
市民体育祭 (第54回)	通年	小平市と体育協会の主催で開催。各連盟・協会の主管により、市内の各スポーツ施設等で競技会を開催。また、ジュニア育成地域推進事業を活用して、各競技団体が、小・中学生大会を開催し、競技力向上を図っている。	各年度	約1万人
スポーツ推進委員を派遣している事業(競技ルール説明、審判員等)				
障がい者運動会 (第42回)	毎年 5月下旬	障がいのある人の健康づくりと相互交流を目的として、誰もが楽しめるプログラムを用意した運動会を開催。平成28年度は、障がい者スポーツのデモンストレーションや体験も行った。	平成28 27 26	374 354 287
センターまつり (第32回)	毎年 9月上旬	たいよう福祉センターでは、障がいのあるなしに関わらず、子どもから高齢者まで参加できるイベントを通して、センター事業の理解と共感を深め、交流の輪を広げる。	平成28 27 26	600 500 500
小平市高齢クラブ連合会 運動会(第44回)	毎年 10月上旬	高齢者が健康で豊かな生活を送るため、地域ごとで自主的に組織されている高齢クラブが交流する運動会。	平成28 27 26	440 雨天中止 443

(4) スポーツ教室等の実施 ※文化スポーツ課が主管又は関連するもの

スポーツ人口の裾野を広げ、市民の健康増進や地域スポーツ振興を目的に以下の教室を開催しています。

平成28年度の内容

教室名	期間(回数)	参加者数	講師
水泳ワンポイントレッスン (平成27年度実績)	週2日(月・土曜日:前期・後期)	合計 755 人 大人:580 人 子ども:175 人	小平市水泳協会
ベビーとお母さんの体操教室 ※6 か月から1 歳の乳児と親	11/8~29 (4 回)	延べ 90 人 (15 組)	日本 3B 体操会 公認指導者
親子でふれあい体操教室 ※1 から 2 歳の幼児と親 ※3 歳以上の未就学児と親	①8/16~24 ②1/24~2/2 (各 4 回)	① 延べ 116 人 (22 組) ②延べ●人 (●組)	日本 3B 体操会 公認指導者
親子でヨーイドン!(ミニ運動会) ※3 歳以上の未就学児と親	①10/22(土) ②2/18(土)	①33 人(16 組) ②●人(●組)	スポーツ推進委員
整体ヨーガ教室①②	①6/23~7/14 ②12/8~22 (各 4 回)	①延べ 50 人 ②延べ 45 人	ヨーガインストラクター
リラックスエクササイズ教室	10/3~31 (4 回)	延べ 54 人	元 NHK 体操 インストラクター
ボクシングエクササイズ	3/1~22 (4 回)	延べ●人	ジムトレーナー
カヌー体験教室 ※25m以上泳げる小学 4 年生~ 中学生	7/26~8/4 (4 回) 1 回荒天中止	延べ 56 人	東京都カヌー協会 公認指導者
トップアスリートによるランニング 教室 ※小学3年生以上	9/17(土)	小学生の部 38 人 中学生の部 24 人	東京経済大学 陸上競技部コーチ
「チーム」のための少年野球教室 ①5・6年生向け、②3・4年生向け ③指導者向け	①12/17 ② 2/11 ③12/17	①88 人 ②●人 ③33 人	元プロ野球選手
FC 東京サッカークリニック ※小学5・6年生	10/30(日)	5年生の部 90 人 6年生の部 102 人	FC 東京スタッフ
FC 東京による高齢者の体操教室 (健康づくり教室) ※65歳以上	11/21、28 (2 回)	延べ 46 人	FC 東京スタッフ
ノルディックウォーキング体験 教室	① 4/17 ②10/29 ③11/ 5 ④11/20	①20 人 ②36 人 ③68 人 ④39 人	全日本ノルディック ウォーク連盟 公認指導員

上記(3)(4)のほか、子ども家庭部、健康福祉部、教育委員会の各部門が、体操等健康づくりのイベントや教室、講座等を開催しています。

(5) スポーツをささえる人、クラブ及び団体

地域スポーツ振興のコーディネーターの役割が期待されているスポーツ推進委員をはじめ、スポーツボランティア、体育協会加盟団体、市内の学校体育施設等でスポーツをささえる人、クラブ・団体が活動しています。

① 小平市スポーツ推進委員

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法及びスポーツ推進委員に関する規則に基づき市から委嘱され、スポーツの普及・推進を図るための企画、立案及び助言などを行い、スポーツ活動全般にわたるコーディネーターとして、市民の方々がスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。

平成 28 年(2016 年)8 月時点で、21 名(男性:9 名、女性:12 名)の方が活動しています。

② 小平市スポーツボランティア

スポーツボランティアは、スポーツを「ささえる」関わり方で大会・イベント支援などの活動を行うボランティアです。市内に在住、在勤又は在学する 18 歳以上の方であれば、スポーツ指導の専門的知識や経験は問わず、市のスポーツボランティアに登録いただけます。

平成 28 年 8 月時点で、登録者数 76 名(男性:38 名、女性:38 名)の方が活動しています。



研修会の模様

③ 一般社団法人小平市体育協会及び体育協会加盟の団体

体育協会は、昭和 34 年(1959 年)に創立以来、年々加盟団体数が増え、各種のスポーツ大会や教室、講演会などを主催するとともに市や教育委員会との共催事業を行うなど、地域に根ざした市民スポーツ振興の中核的存在として大きな役割を果たしています。

平成 28 年時点で、32 団体が加盟しています。

体育協会加盟団体名			
軟式野球連盟	剣道連盟	卓球連盟	陸上競技協会
ソフトテニス連盟	柔道会	バレーボール連盟	スキー連盟
バドミントン協会	サッカー協会	空手道連盟	弓道連盟
居合道連盟	水泳協会	テニス協会	ラジオ体操会連盟
合気道連盟	婦人軽体操連盟	ソフトボール連盟	ゲートボール連盟
アーチェリー連盟	少林寺拳法連盟	バスケットボール協会	ライフル射撃協会
バウンドテニス協会	武術太極拳連盟	ダンススポーツ連盟	小平ゲートゴルフクラブ
ゴルフ協会	ラグビーフットボール協会	ターゲットバードゴルフ協会	ミニテニス協会

④ 学校施設のスポーツ開放

学校体育施設は、地域住民にとって最も身近な施設あり、地域スポーツの拠点に加え、スポーツを通じたコミュニティの拠点として重要な役割を果たしています。

- ・団体開放は市内小学校全19校と第一中学校で実施しています。
- ・個人開放は第一小学校から第七小学校の体育館7校で実施（火・金曜日の夜間、日曜日の午前）しています。

開放施設	
校 庭	小平市立小学校 19 校 (小平第六小学校は、夜間照明設備付き)
体育館	小平市立小学校 19 校 ※うち第一小学校から第七小学校(7校) は個人開放もあり。 小平市立第一中学校(アリーナ・武道場)

団体開放の利用実績

年 度	校庭登録団体	校庭利用率	体育館登録団体	体育館利用率
平成 27 年度	47 団体	98.6%	127 団体	79.4%
平成 26 年度	48 団体	98.2%	133 団体	79.0%
平成 25 年度	47 団体	99.9%	130 団体	81.8%

個人開放(体育館)の利用実績

年 度	回 数	利用者	利用者平均	管理指導員※
平成 27 年度	508 回	延べ 5,956 人	11.7 人	延べ 1,003 人
平成 26 年度	519 回	5,240 人	10.1 人	943 人
平成 25 年度	497 回	4,798 人	9.7 人	982 人

※管理指導員は、会場の管理と個人利用者に対して卓球、バドミントン、バウンドテニスの指導をしています。

⑤ スポーツ振興用運動用具・レクリエーション備品の貸出

スポーツ・レクリエーションを通じた地域活動の振興のため、市民サークル等地域活動(スポーツ大会等)に対し、行事用テント、運動会用品、放送器具等の備品類を貸出ししています。

貸出実績

年 度	使用申請数	使用備品数
平成 27 年度	181 件	8,191 点
平成 26 年度	148 件	5,167 点
平成 25 年度	180 件	6,250 点

⑥ トップチーム・クラブ

- ・FC 東京(小平グランド(練習場))
- ・嘉悦大学女子バレーボール部 など

3. スポーツに関する小平市民の現状

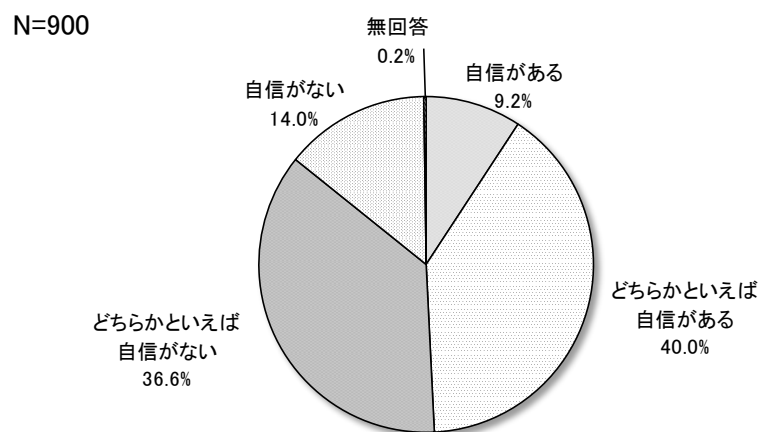
(1) 体力の現状

体力に自身がある市民の割合は約5割、日頃運動不足を感じている市民の割合は約8割となっています。小平市民の体力の現状をみると、運動への意向はあるものの十分に実施できていないことがうかがえます。

■自分の体力についてどのように感じていますか

市民の体力についての現状をみると、「どちらかといえば自信がある」が最も多く40.0%、ついで「どちらかといえば自信がない」が36.6%となっています。

「自信がある」「どちらかといえば自信がある」の合計は49.2%となっています。

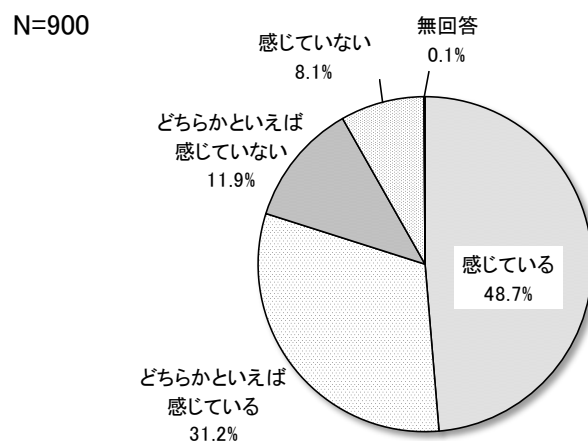


(出典:平成28年度小平市民のスポーツに関するアンケート)

■日頃、運動不足を感じていますか

日頃、運動不足を感じているかについては、「感じている」が48.7%と最も多く、ついで「どちらかといえば感じている」が31.2%、「どちらかといえば感じていない」が11.9%となっています。

「感じている」「どちらかといえば感じている」の合計は79.9%となっています。



(出典:平成28年度小平市民のスポーツに関するアンケート)

■子どもの体力・運動能力

小平市の児童・生徒の体力・運動能力は、東京都の平均値と比較して、小学校・中学校ともに、男子は全8種目中7種目、女子は全8種目上回っています。

学校ごとに調査結果の分析・考察を行い、日々の授業での指導方法の工夫・改善に努めていること、また、児童・生徒の体力・運動能力に関する具体的な目標を定め、学校の実態にあった「一校一取組」に取り組んだことなど、児童・生徒の実態に即した実践の成果が現れていると考えられます。

課題は、小学校では敏捷性(反復横とび)、スピード及び走能力(50m走)、中学校では、筋力(握力)、スピード及び走能力(50m走)にみられます。

引き続き、児童・生徒の体力・運動能力向上に向けた取組を推進していくことが求められます。

(%)

（70）

校種	学年	男子								
		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	選択種目		50m走 (秒)	立幅とび (cm)	ハンド(ソフト) ボール投げ(m)
						持久走(秒)	20mシャトルラン(回)			
小学校	第1学年	9.4	11.2	26.5	26.2		17.0	11.4	112.2	8.2
	第2学年	10.8	13.6	27.9	30.3		28.5	10.6	122.6	11.4
	第3学年	12.9	16.1	30.8	33.7		39.1	9.9	131.9	15.0
	第4学年	14.8	18.6	32.5	38.3		47.0	9.5	143.5	19.0
	第5学年	16.9	20.5	34.1	41.5		57.6	9.1	152.3	22.7
	第6学年	19.7	22.0	36.1	45.2		61.9	8.8	160.3	25.8
	市平均	14.1	17.0	31.3	35.8		41.9	9.9	137.1	17.0
	都平均	13.9	16.7	30.6	35.8		38.2	10.0	136.4	16.5
中学校	第1学年	23.0	25.2	38.6	49.1	416.9		8.5	175.7	17.6
	第2学年	29.3	27.5	43.3	52.8	381.4		8.0	194.9	20.6
	第3学年	34.1	30.9	48.4	55.7	369.9		7.5	208.5	23.2
	市平均	28.8	27.9	43.4	52.5	389.4		8.0	193.0	20.5
	都平均	28.0	26.8	41.2	51.4	396.5		8.0	191.4	20.0

校種	学年	女子								
		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	選択種目		50m走 (秒)	立幅とび (cm)	ハンド(ソフト) ボール投げ(m)
						持久走(秒)	20mシャトルラン(回)			
小学校	第1学年	8.7	11.1	29.3	25.2		14.5	11.8	104.9	5.7
	第2学年	10.1	13.8	31.6	29.0		21.2	10.9	115.2	7.3
	第3学年	12.1	15.6	34.4	32.4		28.0	10.3	124.4	9.1
	第4学年	14.0	17.5	36.4	36.4		34.9	9.8	136.4	11.2
	第5学年	16.5	19.4	39.1	39.9		44.6	9.5	146.3	13.5
	第6学年	19.2	20.6	41.6	42.9		48.8	9.1	153.9	15.0
	市平均	13.4	16.3	35.4	34.3		32.0	10.2	130.2	10.3
	都平均	13.3	15.9	34.5	34.1		29.2	10.3	129.0	9.9
中学校	第1学年	21.1	22.1	42.3	44.9	306.5		9.0	161.8	11.0
	第2学年	23.5	24.8	44.7	47.6	284.6		8.7	167.7	12.7
	第3学年	24.9	24.9	46.4	48.7	289.8		8.6	168.4	13.4
	市平均	23.2	23.9	44.5	47.1	293.6		8.8	165.9	12.4
	都平均	23.1	22.7	44.0	45.8	295.8		8.9	164.2	12.0

：東京都平均値を上回っている数値

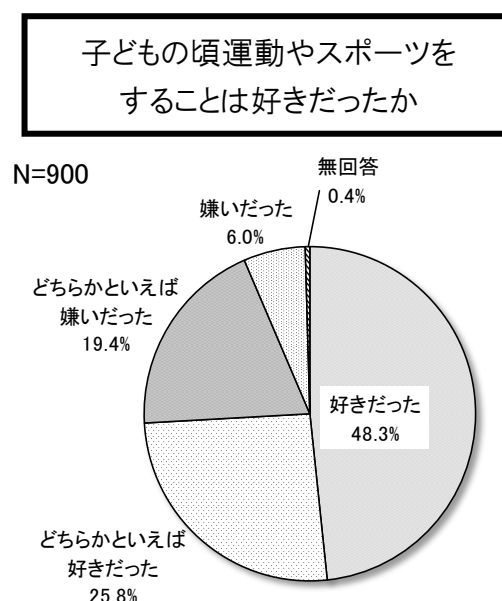
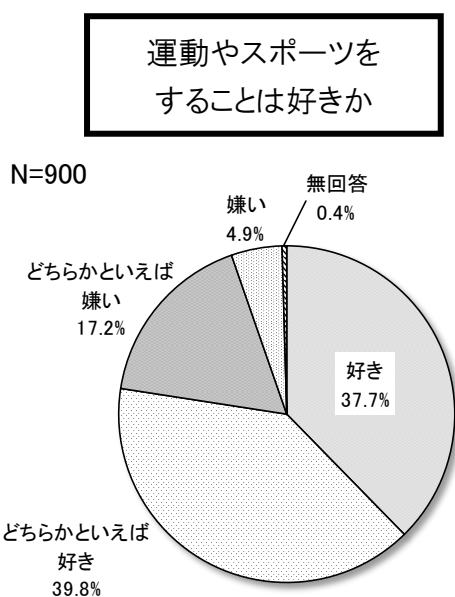
(平成27年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果)

(2) スポーツに対する意識

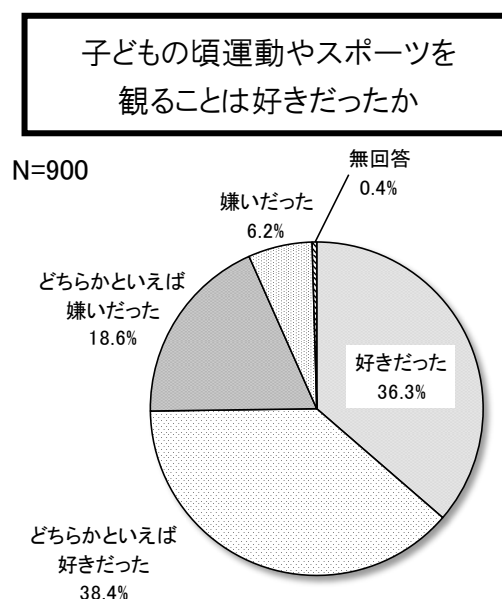
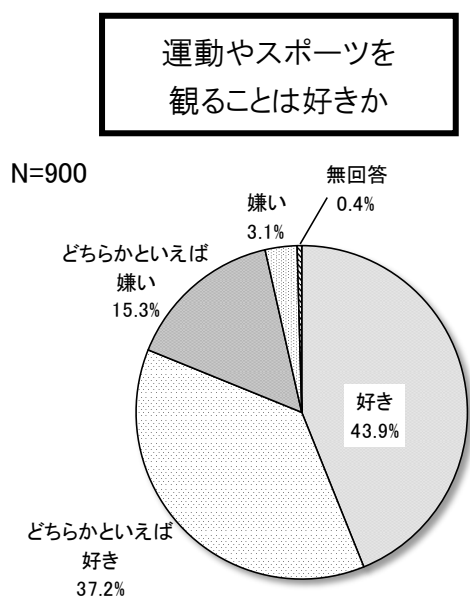
子どもの頃と比べて、運動やスポーツをすることも観ることも好きになった人が多くなっています。大人になっても運動やスポーツを好きでいるためには、子どもの頃からスポーツに親しめる環境があることの重要性がうかがえます。

運動やスポーツをすることが「好き」「どちらかといえば好き」の合計は77.5%となっています。子どもの頃については、「好きだった」「どちらかといえば好きだった」の合計は74.1%となっています。

運動やスポーツを観ることが「好き」「どちらかといえば好き」の合計は81.1%となっています。子どもの頃については、「好きだった」「どちらかといえば好きだった」の合計は74.7%となっています。



(出典:平成28年度小平市民のスポーツに関するアンケート)



(出典:平成28年度小平市民のスポーツに関するアンケート)

■子どもの運動の好き・きらい

女子では、「ややきらい」「きらい」と回答した児童・生徒の割合が、小学校第6学年から増加傾向にあります。子どもがスポーツに親しむためには、性別や個々の状況に応じた多様な取組が求められることがうかがえます。また、この時期から運動をする、しない子どもが大きく2極化しないような取組を充実していくことも大切です。

(%)

校種	学年	男子				女子			
		好き	やや好き	ややきらい	きらい	好き	やや好き	ややきらい	きらい
小学校	第1学年	72.3	22.8	4.4	0.5	64.8	29.6	4.0	1.6
		95.1		4.9		94.4		5.6	
	第2学年	68.9	23.9	5.8	1.5	64.5	27.2	6.1	2.2
		92.8		7.3		91.7		8.3	
	第3学年	74.5	20.7	3.3	1.5	65.8	26.2	6.2	1.9
		95.2		4.8		92.0		8.1	
	第4学年	72.7	21.1	4.3	1.9	61.9	31.5	5.2	1.3
		93.8		6.2		93.4		6.5	
	第5学年	72.5	20.9	4.4	2.2	60.7	29.5	6.7	3.1
		93.4		6.6		80.2		9.8	
	第6学年	71.9	20.8	4.6	2.7	52.0	33.5	10.3	4.2
		92.7		7.3		85.5		14.5	
中学校	第1学年	76.7	18.5	3.6	1.2	54.1	31.1	9.9	4.9
		95.2		4.8		85.2		14.8	
	第2学年	66.3	21.6	7.2	4.9	54.4	28.4	11.5	5.7
		87.9		12.1		82.8		17.2	
	第3学年	65.6	24.0	6.7	3.7	50.2	27.7	12.9	9.3
		89.6		10.4		77.9		22.2	

□ : 東京都平均値を上回っている数値

(平成27年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果)



ジュニアバドミントン教室

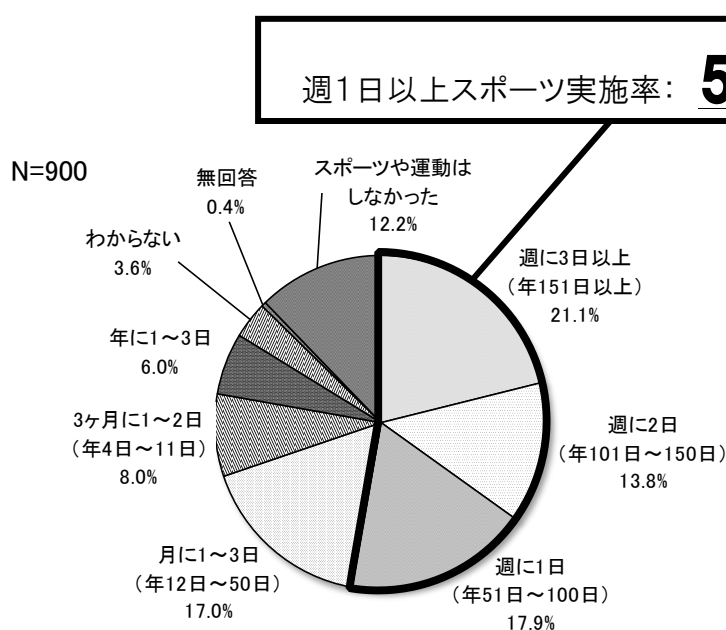
(3) スポーツの実施状況

週に1日以上スポーツをしている市民の割合は52.8%となっています。

60歳以上で70%を上回っている一方で、30～49歳の世代は50%を下回っており、世代が若いほど実施率が低い傾向がみられます。

高齢者は、健康意識が高いことが、スポーツ実施率の高さにつながっていると考えられます。

市民が運動やスポーツを行った日数をみると、「週に3日以上(年151日以上)」が最も多く21.1%、ついで「週に1日(年51日～100日)」が17.9%、「月に1～3日(年12日～50日)」が17.0%となっています。「運動やスポーツをしなかった」は12.2%となっています。



■年齢別にみた週1日以上スポーツ実施率(%)

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
週1日以上スポーツ実施率	52.6	50.5	49.0	48.6	54.2	71.6	77.0	76.7	85.7

(出典:平成28年度小平市民のスポーツに関するアンケート)

【参考】

○成人全体のスポーツ実施率(週1回以上)は平成27年度 **40.4%**
 (出典)「体力・スポーツに関する世論調査(平成24年度まで)」及び「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査(平成27年度)」に基づく文部科学省推計

○東京都民でスポーツ・運動を『週に1日以上実施』した人の割合は **60.5%**
 (出典)都民のスポーツ活動に関する世論調査(平成26年10月調査)

■子どもの運動の実施状況

ほとんど毎日運動をする児童・生徒の割合は、小・中学校の全学年において都の平均値を上回っています。男子は年齢があがるにつれて割合が高くなる傾向がみられます。

(%)

校種	学年	男子				女子			
		ほとんど毎日	週1～2日	月1～3日	しない	ほとんど毎日	週1～2日	月1～3日	しない
小学校	第1学年	33.1	52.5	7.0	7.4	24.5	50.5	9.7	15.3
	第2学年	44.9	43.4	6.0	5.7	28.2	53.0	8.5	10.3
	第3学年	50.3	39.5	6.2	4.0	31.8	51.4	8.4	8.5
	第4学年	57.6	32.8	5.9	3.7	38.1	49.5	7.8	4.6
	第5学年	60.9	31.6	4.9	2.6	42.6	47.3	7.6	2.5
	第6学年	60.1	30.1	5.6	4.2	35.1	48.0	11.1	5.8
中学校	第1学年	83.8	10.2	3.0	3.0	64.5	13.7	10.2	11.6
	第2学年	81.9	8.2	5.2	4.6	59.5	13.4	12.2	14.9
	第3学年	73.8	12.9	5.4	7.9	53.6	13.4	9.6	23.4

：東京都平均値を上回っている数値
(平成27年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果)



小平市少年少女マラソン大会

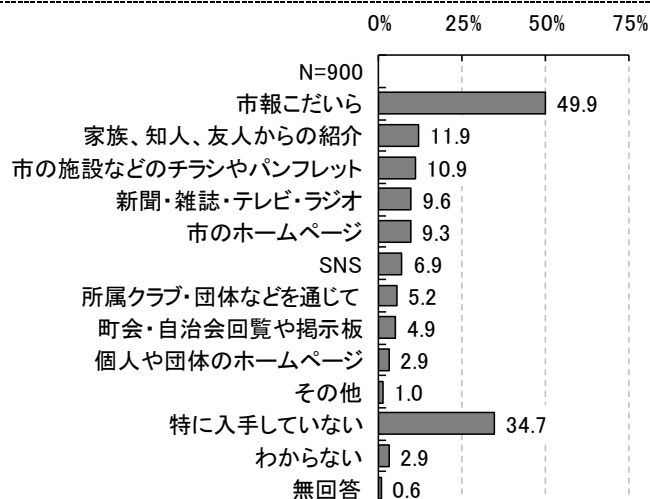
(4) スポーツに関する情報提供

「市報こだいら」で情報を入手している人が最も多く5割となっています。また、特に入手していない人は3割台半ばとなっています。

より多様な手段での情報提供が必要だということがうかがえます。

「市報こだいら」が49.9%と最も多く、ついで「家族、知人、友人からの紹介」が11.9%、「市の施設などのチラシやパンフレット」が10.9%となっています。

「特に入手していない」は34.7%となっています。



(出典:平成28年度小平市民のスポーツに関するアンケート)

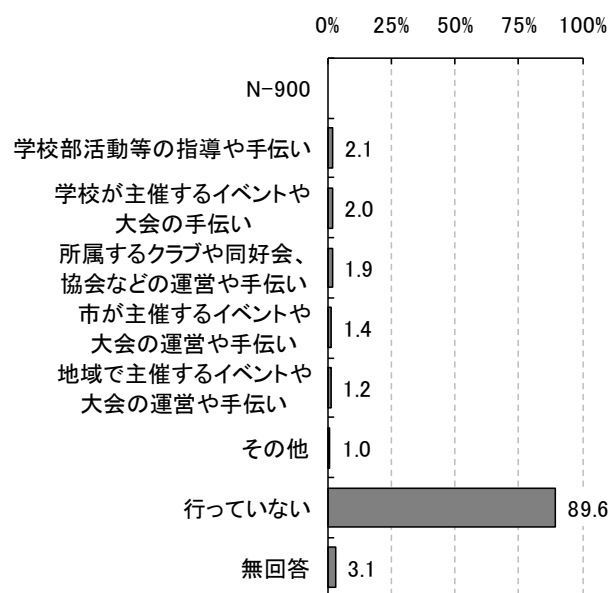
(5) スポーツに関するボランティア

いずれかのボランティア活動を行った人は1割、行っていない人は9割となっています。

スポーツをささえるボランティア活動への関心を高める取組が求められていることがうかがえます。

「学校の部活動や少年スポーツ団体、昔あそび(学校支援含む)などの指導や手伝い」が2.1%、ついで「学校が主催するイベントや大会(子どもの運動会など)の運営や手伝い」が2.0%、「所属するクラブや同好会、協会などの運営や手伝い」が1.9%となっています。

いずれかのボランティア活動を行った人は7.3%、「行っていない」人は89.6%となっています。

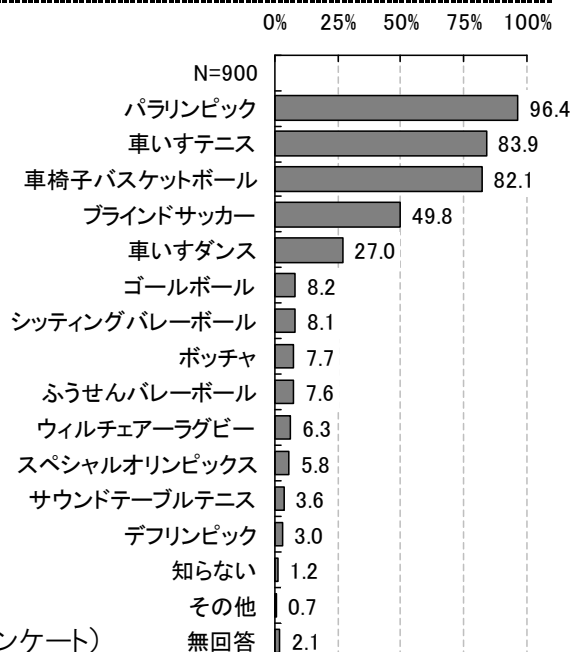


(出典:平成28年度小平市民のスポーツに関するアンケート)

(6) 障がい者スポーツの認知度

パラリンピックの認知度が最も高く9割台半ばとなっています。車いす競技の認知度が高くなっていますが、他の競技の認知度の向上が求められているといえます。

「パラリンピック」が96.4%と最も多く、ついで「車いすテニス」が83.9%、「車椅子バスケットボール」が82.1%となっています。



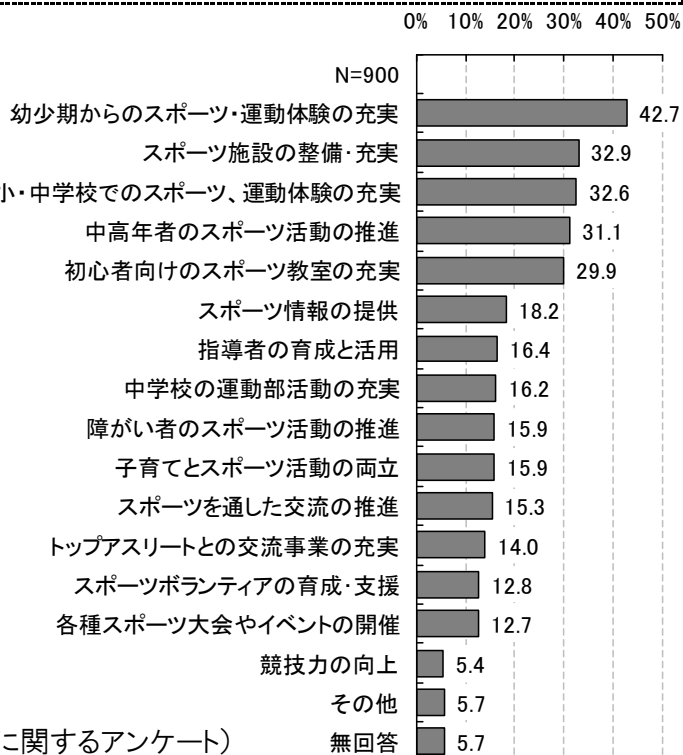
(出典:平成28年度小平市民のスポーツに関するアンケート)

(7) 市のスポーツ推進

今後、市は幼少期からのスポーツ・運動体験の充実に重点をおいて取り組んでいくべきという回答が最も多く4割を超えています。

子どものスポーツ環境の整備への関心の高さがうかがえます。

「幼少期からのスポーツ・運動体験の充実」が42.7%と最も多く、ついで「スポーツ施設の整備・充実」が32.9%、「小・中学校でのスポーツ・運動体験の充実」が32.6%となっています。



(出典:平成28年度小平市民のスポーツに関するアンケート)

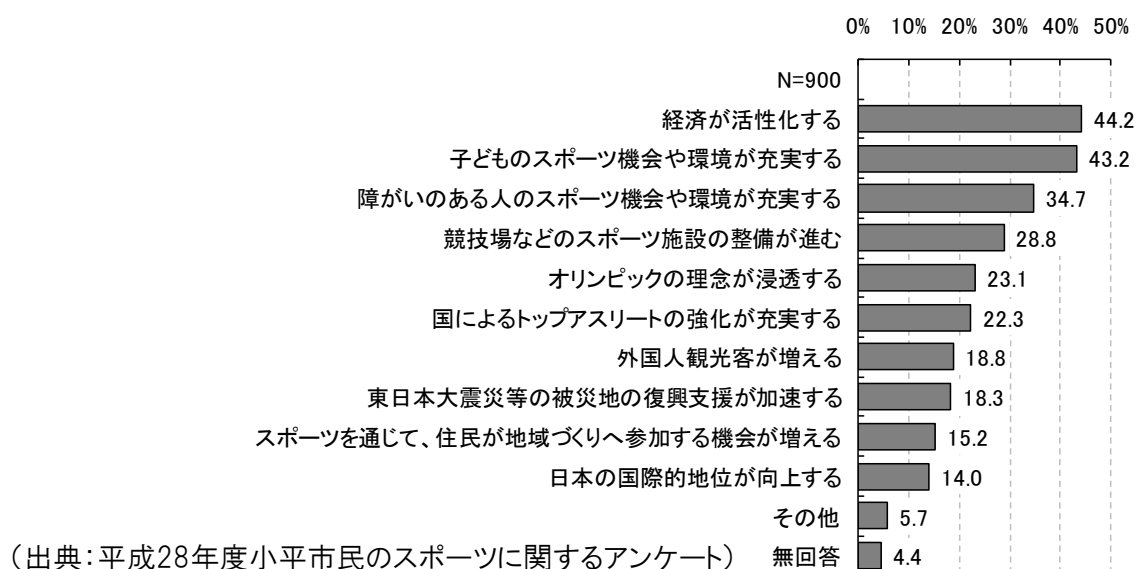
(8) 2020年東京オリンピック・パラリンピック

東京2020大会開催を契機として、あなたが期待することは、「経済が活性化する」が最も多く4割台半ばとなっています。また、小平市に期待することは、「バリアフリー・障がい者理解の推進」が最も多く4割近くとなっています。

これまでの市の取組に加え、大会開催を契機とした子どもや障がい者のスポーツ環境整備への関心の高さがうかがえます。

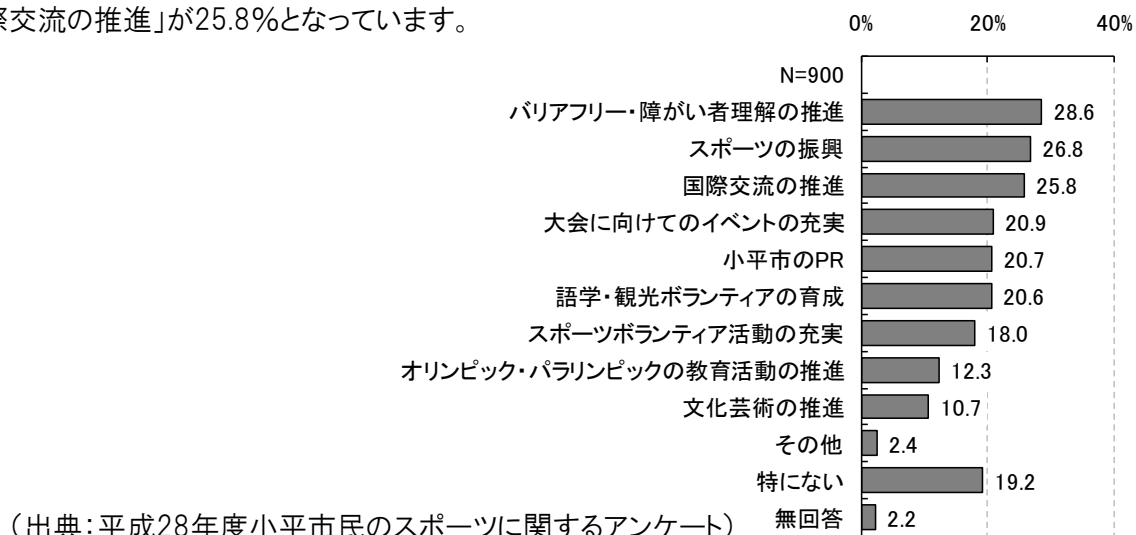
■東京2020大会開催を契機として、あなたが期待すること

「経済が活性化する」が44.2%と最も多く、ついで「子どものスポーツ機会や環境が充実する」が43.2%、「障がいのある人のスポーツ機会や環境が充実する」が34.7%となっています。



■東京2020大会開催を契機として、小平市に期待すること

「バリアフリー・障がい者理解の推進」が28.6%と最も多く、ついで「スポーツの振興」が26.8%、「国際交流の推進」が25.8%となっています。



4. これまでの小平市のスポーツ施策の進捗状況

(1) 小平市第三次長期総合計画の取組

小平市第三次長期総合計画の「生涯スポーツの推進」の分野に掲げられた計画事業の進捗状況は以下のとおりとなっています。

■施設事業

計画事業	進捗状況
① 小学校校庭への夜間照明設置の検討	未実施
② プレイパーク設置の検討・実現	平成 22 年度小川町一丁目に設置済

■非施設事業

計画事業	進捗状況
① 体育施設の計画的維持管理の実施	継続中
② ハヶ岳山荘の今後のあり方の検討	平成 24 年度施設廃止
③ 総合型地域スポーツクラブの育成	未実施
④ 生涯スポーツを支える人材育成やボランティアのしくみづくり	継続中
⑤ 関係団体や NPO 団体等との連携・協働	継続中
⑥ 公共施設予約システムの導入	平成 18 年度導入済
⑦ 東京国体開催に向けての準備	実施済

(2) 小平市のスポーツ振興の基本方針の取組

前基本方針に掲げられた施策の進捗状況は以下のとおりとなっています。

施策	進捗状況
① 小平市体育協会の法人化	平成 22 年(2010 年)4 月～
② 市民総合体育館の指定管理者制度の導入※	平成 27 年(2015 年)4 月～
③ FC 東京と市との事業連携	継続中
④ 小平市体育協会への支援	継続中
⑤ スポーツ推進委員及び体育協会加盟団体の育成	継続中

※小平市民総合体育館共同事業体(小平市体育協会、FC東京)が、指定管理者となっています。

5. 小平市のスポーツ振興の課題

これまでの本市におけるスポーツ施策の進捗状況やスポーツを取り巻く動向、市民のスポーツ活動や環境の現状を踏まえ、以下の6点に課題を整理しました。

課題 1. だれもがスポーツに親しめる機会の充実に向けた課題

これまで親子や高齢者などの各世代に合わせた体操教室や健康づくり教室、歩け歩け会、市民駅伝などのスポーツに親しむきっかけとなる事業を実施していますが、市民の運動やスポーツの実施状況（週1回スポーツ実施率）を見ると、52.8%となっています。

運動やスポーツの時間が取れない方や苦手な方に対して、体力や性別、世帯の状況、障がいの有無に関わらず、だれもがスポーツに親しめる機会の充実が求められています。また、市民の運動やスポーツの実施状況（週1回スポーツ実施率）を年齢別に見ると、49歳以下の世代は全体より低くなっており、若い世代の運動やスポーツの実施率の向上が求められています。

課題 2. 人財育成に向けた課題

スポーツをささえる人財を育成する機会としては、障がい者スポーツをテーマとしたスキルアップセミナーやスポーツボランティア研修会による発掘、育成及び拡充などに取り組んできました。しかし社会環境の変化や多様化する市民のニーズに対応するためには、市民のスポーツ活動をささえる指導者や大会ボランティアなど、今以上の人財の確保・育成が重要です。また、これまで培われてきたスポーツ推進委員をはじめとするスポーツ指導者や体育協会など、団体の人財・組織力を活かしていくための連携・協働体制のさらなる充実が求められています。

課題 3. スポーツをする場の整備・充実に向けた課題

現在、スポーツに関わる公共施設の運営に加えて、学校施設スポーツ開放事業を行っており、身近なスポーツの拠点として、地域及び勤労者など多くの団体や個人に利用されていますが、市民のスポーツ活動は、スポーツ施設だけではなく公園、広場、遊歩道、自宅など様々な場所で行われています。

今後も市民の多様なスポーツをささえるためには、身近な公園、広場、緑道の整備、学校体育施設、地域センターの有効活用や近隣市に所在するスポーツ施設との相互利用を推進していくことが求められています。

課題4．効果的な情報発信・提供に向けた課題

スポーツ大会や教室についての情報発信は、市報こだいら、市ホームページ、体育協会ホームページ及び募集ちらし等で行っています。また、小学生対象のスポーツ事業については、教育委員会の協力により、学校を通じてお知らせを全員に配布しています。しかし、多様化する市民のスポーツをささえるためには、情報技術を活用し、公共施設予約システムの利便性の向上や多様な手法・媒体を活用した情報提供に取り組むことが大切です。一方で家族、知人、友人からの紹介による情報発信(クチコミ)も効果的であることから、人のつながりの輪を広げていくことが重要であるといえます。また、今以上にスポーツを行う機会を増やしたいと考えている市民は健康づくりに関する情報やクラブ、サークルの活動状況についての情報を求めていることがわかります。

課題5．スポーツを通じた地域づくりに向けた課題

市民駅伝大会や新春歩け歩けのつどいなど、人と人とのつながりが感じられるイベントや社会福祉協議会による様々な障がい者スポーツでの交流会により、障がい者への理解促進とスポーツを通じた地域づくりに取り組んでいます。本基本方針ではスポーツを広く捉えており(P.5参照)スポーツを通じた仲間づくりやいきがづくりを推進していきます。また、日常的にスポーツを継続している人は、実施の理由を友人・仲間、家族のふれあいといったスポーツを通じた交流という回答が多くなっていることから、今後は子どもから大人まで地域に根差し、人がつながる連帯感の向上などスポーツを通じた新しい交流の広がりが求められているといえます。

課題6．2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた課題

これまで東京2020大会に向けた気運醸成として、歩いて探検なぞ解きイベント、在日外国人向け着物で茶道教室といった文化プログラム²やパラリンピック正式種目であるボッチャ、ゴールボールなど障がい者スポーツのデモンストレーションと体験・交流イベントを開催しています。また、市内の小・中学校ではオリンピック・パラリンピック教育を推進しています。

東京2020大会開催は、スポーツを通じて市民に夢や感動を与えるとともに、大会開催を契機として出場国のホストタウン、事前キャンプ誘致など異なる文化との交流を進める絶好の機会といえます。

市民が期待することとして、経済の活性化のほか、子どもや障がいのある人のスポーツ機会や環境の充実、バリアフリー・障がい者理解の促進が求められています。また、スポーツボランティア等の活動促進を図りつつ「する」「みる」「ささえる」スポーツの実践へとつなげ、大会終了後も市民のスポーツへの関心を高める「レガシー(遺産)³」の継承も求められています。

。2 文化プログラム：オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であると同時に、文化の祭典でもあります。オリンピズムの根本原則には、スポーツと文化と教育の融合を謳われており、大会組織委員会は、複数の文化イベントからなる文化プログラムを計画しなければならないと規定しています。

。3 レガシー(遺産)：大会開催により、長期にわたり継承・享受できる大会の社会的、経済的及び文化的恩恵。

小平市ゆかりのオリンピック



室屋 成選手(左)と中島翔哉選手(右)



村上茉愛(まい)選手

小平市は、市にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアンを応援しています。

2016年7月には、リオデジャネイロオリンピック体操女子日本代表の村上茉愛(まい)選手が小林正則市長を訪ね、五輪出場を報告しました。

また、市内に練習場のあるFC東京からも、サッカー男子日本代表 室屋 成(せい)選手、中島翔哉選手が市役所を表敬訪問しました。

当日は、市役所玄関前で行われた壮行会に多くの市民が駆け付け、選手を激励しました。

第3章

小平市のスポーツ振興の基本方針



第3章 小平市のスポーツ振興の基本方針

本基本方針は小平市第三次長期総合計画に基づき市のスポーツ振興の基本的な考え方を示すものです。小平市第三次長期総合計画に掲げられた将来都市像のひとつである「健康で、はつらつとしたまち」の実現に向け、第2章で整理した課題を踏まえて以下の6つの基本方針を掲げます。

基本方針 1. だれもがスポーツに親しめる機会の充実

体力や年齢、性別、世帯状況、障がいの有無に関わらず、市民のだれもがスポーツに親しめるきっかけづくりを推進します。また、日々の生活の中でスポーツの時間が取れない方やスポーツが苦手な方が気軽にスポーツに親しめる機会の充実にも取り組みます。

基本方針 2. スポーツ推進に関わる人財の育成

スポーツの楽しさや魅力を伝えることができる人財の確保、育成のためスポーツボランティア、スポーツ推進委員、体育協会及び社会福祉協議会など、団体との連携、協働に取り組みます。また、地域スポーツをささえる人財としての活動を支援します。

基本方針 3. スポーツをする場の整備・充実

公共スポーツ施設の利便性や魅力の向上に取り組むとともに、学校等の体育施設や地域センターなどの有効活用により市民のだれもが身近にスポーツに親しめる環境づくりを推進します。

基本方針 4. スポーツ活動につながる効果的な情報の発信や提供

だれもが身近にスポーツにふれるきっかけづくりに向けて、様々な情報媒体を活用した情報発信に取り組みます。また、施設利用を促進させるため、システムの利便性向上に努めます。

基本方針 5. スポーツを通じた仲間づくり・地域づくり

健康づくりに役立つイベントやユニバーサルスポーツの教室等を開催し、多様な市民の交流を生み出すことでスポーツを通じた仲間づくりの推進や地域コミュニティの活性化に取り組みます。

基本方針 6. 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応

東京2020大会開催を契機として、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の関わり方で、スポーツへの興味、関心の向上、観戦機会の提供、ボランティア活動への参加促進等に取り組むとともに異なる文化との交流、大会終了後の「レガシー」の継承にも取り組みます。

基本方針の体系と取組項目

6つの基本方針に位置づけられる取組項目は以下のとおりとなります。この基本方針を「する」「みる」「ささえる」でのスポーツの関わり方で整理しています。

また、平成 29 年度から平成 32 年度までの4年間で、特に積極的に推進する取組項目である「ライフステージに応じたスポーツの機会の充実」、「ユニバーサルスポーツの推進」、「2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応」を重点項目として位置付けます。

関わり方	基本方針	取組項目
みる	1. だれもがスポーツに親しめる機会の充実	(1) ライフステージに応じたスポーツの機会の充実【重点】 (2) ユニバーサルスポーツの推進【重点】 (3) スポーツ教室、大会・イベント等の充実
	2. スポーツ推進に関わる人財の育成	(1) スポーツ指導者への支援 (2) ボランティア等の発掘、育成及び拡充
	3. スポーツをする場の整備・充実	(1) スポーツ施設の整備及び管理、運営 (2) 学校体育施設の有効活用 (3) 身近な施設等におけるスポーツの推進
	4. スポーツ活動につながる効果的な情報の発信や提供	(1) 多様な手法を活用したスポーツ関連情報の発信 (2) スポーツ関係者・団体等における情報共有
	5. スポーツを通じた仲間づくり・地域づくり	(1) スポーツを通じた地域コミュニティの活性化 (2) 健康づくり事業の推進 (3) 小平の良さの再発見
	6. 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応	(1) 広報やイベント・教室の実施【重点】 (2) スポーツへの興味、関心の向上【重点】 (3) オリンピック・パラリンピックレガシーの創出【重点】

基本方針 1 だれもがスポーツに親しめる機会の充実

(1) ライフステージに応じたスポーツの機会の充実【重点】

- ライフステージを通してだれもがそれぞれの体力、技術、生活環境の違いに応じた多様なスポーツ機会の充実に取り組みます。
- 親子遊び、外遊び等を通じて幼児の頃から身体を動かす楽しさを知り、身近なところでスポーツに親しむことができる機会の充実に努めます。
- 少年少女マラソン大会などを通じた子どもの体力向上や運動習慣の定着に取り組みます。また、ジュニア選手等の競技力向上を目的にスポーツと健康をテーマとした医学、栄養、運動等の講座や教室の開催に取り組みます。
- 働き盛り・子育て世代などの余暇活動の時間を取りづらい世代が、日常生活の身近なところでスポーツに取り組むことができる機会の充実やきっかけづくりに取り組みます。
- 介護予防や認知症予防事業など健康・福祉分野と連携し、軽体操やウォーキングなど生涯を通じたスポーツ活動への取組を進めます。
- スポーツに関心が低い、あるいはスポーツをすることができない市民に対しては、スポーツ観戦など「みる」スポーツや活動支援など「ささえる」スポーツに取り組んでもらうことができるよう努めます。

(2) ユニバーサルスポーツの推進【重点】

- 就学前の子どもや高齢者、障がい者など様々な人がスポーツの楽しさを享受できるユニバーサルスポーツの推進に取り組みます。また、地域に仲間をつくり、人とのつながりを育むなど、スポーツを通じた新たな交流を生み出します。
- 健康状態や障がいの程度がさまざまな高齢者や障がい者のスポーツ機会を充実させるためには、それぞれの状況に配慮が必要となることから、健康・福祉分野等と連携した取組を進めます。
- スポーツ推進委員、社会福祉協議会と連携して、高齢者や障がい者が気軽に参加できるボッチャなどのユニバーサルスポーツを取り入れたイベントを実施します。

(3) スポーツ教室、大会・イベント等の充実

- 市民スポーツまつりや各種スポーツ教室等を充実し、市民のだれもが身近な場所でスポーツを行うきっかけを提供します。
- 体育協会や公民館が実施するスポーツ教室等との整合を図り、参加者が教室をきっかけにスポーツを継続できるように取り組みます。
- スポーツイベント等でスポーツをするだけではなく、「みる」機会を提供し、スポーツ観戦、応援を通じてスポーツの魅力を身近に感じる機会を提供します。

基本方針 2 スポーツ推進に関わる人財の育成

(1) スポーツ指導者への支援

- 体育協会をはじめとした地域に根ざしたスポーツ活動団体と連携・協働し、市民がスポーツに親しむきっかけづくりを担う指導者への支援に取り組みます。
- 地域スポーツ振興のコーディネーターとしての役割が期待されるスポーツ推進委員の活動と連携を図ります。
- 東京都が実施している障がい者スポーツ指導員養成講習会の受講を推奨し、スポーツ推進委員等を中心に有資格者を増やしていきます。
- 怪我のケアや栄養指導、女性アスリートへの指導など、競技種目をまたいでスポーツ指導者の指導力向上につながる研修や交流が行える場の提供・充実に取り組みます。

(2) ボランティア等の発掘、育成及び拡充

- 子どもや高齢者、障がい者など市民のだれもがスポーツに親しむ場をささえる意欲や幅広い知識等をもったスポーツボランティアの発掘、育成及び拡充に取り組みます。
- 東京都障害者スポーツ協会や日本スポーツボランティアネットワーク⁴、小平市社会福祉協議会と連携して、スポーツボランティアの活動の場を広げていくとともに研修会を重ねてスキルアップを図ります。
- 東京2020大会開催を契機として、スポーツボランティアを育成、確保し、大会終了後も地域スポーツをささえる人財として活動できるよう支援します。
- スポーツ推進委員が市内各地域から選出されるよう、スポーツに関する見識を有し、市民に奉仕する熱意と能力を持つ担い手の発掘と確保に努めます。

。4 日本スポーツボランティアネットワーク：スポーツボランティア文化の醸成を図り、国民の生涯にわたるスポーツ活動を通じた豊かな生活の形成に寄与することを目的に、国内のスポーツボランティア組織のネットワーク化と事業のサポートを行う団体。

基本方針 3 スポーツをする場の整備・充実

(1) スポーツ施設の整備及び管理、運営

- 既存の公共スポーツ施設における設備、備品の充実や施設改修など施設の充実に努めます。
- 指定管理者制度の対象施設を拡充し、より効果的・効率的な施設の管理、運営を目指します。また、指定管理者との綿密な連絡・調整により、多様化する市民ニーズに対応しながら質の高いサービスを提供します。
- だれもが楽しく安全にスポーツをする機会を得られるように、「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」(東京都オリンピック・パラリンピック準備局・東京都障害者スポーツ協会、2016)を参考に施設運営に取り組みます。
- 平成18年度から導入した小平市公共施設予約システムについて、利用者のニーズを把握し、利便性向上に取り組みます。
- 企業が保有するスポーツ施設の一般開放を今後も継続していくとともに、市民がスポーツを行う場の確保に努めます。

(2) 学校体育施設の有効活用

- 学校教育に支障のない範囲で、地域の生涯スポーツの拠点として、学校施設スポーツ開放により、学校体育施設の有効活用に取り組みます。
- 花小金井南中学校の体育館の建て替え時に、地域開放型体育館として整備し、スポーツを通じて世代を超えた交流の場づくりを目指します。

(3) 身近な施設等におけるスポーツの推進

- 地域センターや公民館、児童館等の公共施設を身近なスポーツの場として、ヨガ、ストレッチ教室、ボッチャ等のユニバーサルスポーツの事業の充実に努めるとともに、教室等をきっかけとして市民の交流の機会を生み出し、地域コミュニティの活性化に努めます。
- 身近な環境で身体を動かすことができるよう小平グリーンロードや身近な公園、安全で快適に通行できる歩道や自転車走行空間の整備、活用に努めます。

基本方針 4 スポーツ活動につながる効果的な情報の発信や提供

(1) 多様な手法を活用したスポーツ関連情報の発信

- 地域のスポーツイベント・教室等の情報を、市報こだいら、市ホームページ、体育協会ホームページ、募集ちらし及び体協だより等の多様な手法やSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)等の媒体を活用した情報発信をしていきます。
- スポーツ施設についての認知度を高めることで、スポーツ実施へのきっかけとなるように施設の利用方法等の周知に努めます。
- 平成18年度から導入した小平市公共施設予約システムについて、利用者のニーズを把握し、利便性向上に取り組めます。(再掲)
- 小平グリーンロードマップや観光エリアマップ等を活用し、市民が身近な場所でスポーツに取り組むことができ、「小平の良さ」を再認識するための情報提供に努めます。

(2) スポーツ関係者・団体等における情報共有

- FC東京や市内及び近隣の大学、民間事業者等におけるスポーツ情報の収集に努めます。
- さらなるスポーツ振興及び地域活性化を目指し、観光まちづくり協会や国際交流協会と情報共有を図ります。

基本方針 5 スポーツを通じた仲間づくり・地域づくり

(1) スポーツを通じた地域コミュニティの活性化

- 就学前の子どもや高齢者、障がい者など様々な人がスポーツの楽しさを享受できるユニバーサルスポーツの推進に取り組みます。また、地域に仲間をつくり、人とのつながりを育むなど、スポーツを通じた新たな交流を生み出します。(再掲)
- 地域センターや公民館、児童館等の公共施設を身近なスポーツの場として、ヨガ、ストレッチ教室、ボッチャ等のユニバーサルスポーツの事業の充実と努めるとともに、教室等をきっかけとして市民の交流の機会を生み出し、地域コミュニティの活性化に努めます。(再掲)
- さらなるスポーツ振興及び地域活性化を目指し、観光まちづくり協会や国際交流協会と情報共有を図ります。(再掲)

(2) 健康づくり事業の推進

- 小平グリーンロードを活用した「小平グリーンロード歩こう会」をはじめとするウォーキングイベントなどを積極的にPRし、日常生活での手軽な健康づくりの普及に取り組みます。
- ロコモティブシンドローム⁵予防など健康づくりに役立つイベント・教室等を開催し、スポーツへのきっかけづくりに取り組むとともに、健康増進やいきがいくりにつなげていきます。
- 軽い体操やウォーキングなどスポーツの習慣化のため、介護予防事業などの健康・福祉分野と連携した取組を推進し、スポーツを通じた仲間づくりにつなげます。

(3) 小平の良さの再発見

- FC東京などトップレベルのアスリートと交流できる点だけではなく、小平グリーンロードなど市民が身近な場所でスポーツに取り組むことができる「小平の良さ」を実感できるイベント等に取り組みます。
- 市内を回遊するイベントやウォーキングなどのスポーツを通じて、身近な地域の魅力を発見し、ふれあう機会をつくることで、まちへの愛着を育みつつ、地域活性化を目指します。
- 身近な環境で身体を動かすことができるよう小平グリーンロードや身近な公園、安全で快適に通行できる歩道や自転車走行空間の整備、活用に努めます。(再掲)

5 ロコモティブシンドローム：筋肉、骨、関節などの機能低下により「要介護になる」リスクの高い状態になること。小平市ではロコモティブシンドローム等の予防のために、オリジナル体操「こだ健体操」を毎日の健康づくりのために推奨しています。

(1) 広報やイベント・教室の実施【重点】

- 東京2020大会に向けて、オリンピック、パラリンピアンによる講演会、体験・交流イベントや異なる文化への関心を高める広報や教室等を開催し、気運の醸成に取り組みます。
- パラリンピック競技種目の紹介や障がい者スポーツの普及促進に取り組み、市民のだれもがスポーツに親しめる環境づくりにつなげていきます。
- 国際スポーツ大会や全国大会に出場する小平市にゆかりのある選手の壮行会、報告会の開催や市報等で活躍を紹介するなど、身近なアスリートを応援します。また、市内施設を利用したパブリックビューイングを実施するなど、スポーツを「みる」機会の充実に取り組んでいきます。

(2) スポーツへの興味、関心の向上【重点】

- 東京2020大会を観戦し、感動にふれることはスポーツへの関心や意欲に大きな影響をもたらすと期待できることから、パブリックビューイングの実施等により子どもたちの競技の観戦を支援します。
- 東京2020大会に向けて、異文化交流や国際交流を図るため、ホストタウンや事前キャンプ誘致、開催期間中の練習会場となるように企業や大学、東京都等と情報共有を図り、相互交流ができる相手国の把握に努めます。
- 市が東京2020大会の参画プログラム等の申請窓口となり、様々な組織・団体が第2エンブレムを活用した気運醸成につながる機会の創出に取り組んでいきます。(P36「コラム」参照)
- 2016年に市民総合体育館が、パラリンピック正式種目である日本ゴールボール選手権大会の会場となりました。東京2020大会が市民にとって、より身近に感じる大会となるよう協力していきます。

(3) オリンピック・パラリンピックレガシーの創出【重点】

- 東京2020大会開催後も市民のスポーツへの関心や健康づくりへの意識を継続する取組を行い、体力・運動能力の向上につなげていきます。
- オリンピック教育推進校事業を通じた異なる文化への理解促進や児童、生徒の体力向上などスポーツへの関心の高まりを東京2020大会開催後も継続する取組を行います。
- 障がい者スポーツの普及啓発活動により、障がい者の理解促進や障がい者スポーツ振興を図り、障がい者の社会参加の拡大に繋げていきます。
- 東京2020大会に向けて、スポーツボランティアを育成、確保し、終了後も地域スポーツをささえる人材として活動できるよう支援します。(再掲)

コラム2

東京 2020 参画プログラムマーク



大会エンブレムの基礎であり、「多様性」「つながる」「参加」を表している「3つの異なる四角形」の組み合わせを本マークのデザインエレメントとしました。参画プログラムが目指す参画促進、多様なつながり等を表現しています。

色は、大会エンブレムの「藍色」を基本色としました。そして、日本国旗の日の丸の色である金赤を指し色とし、東京 2020 大会に向けて日本全体で盛り上がっていくことを表しています。

第4章

基本方針の推進にあたって



第4章 基本方針の推進にあたって

1. 各主体に求められること

本基本方針においてスポーツ振興の担い手となる各主体には、以下のようなことが期待されます。

(1) 市民

市民一人ひとりがスポーツを日々の生活の中で身近に感じ、生涯を通じてスポーツを楽しむことが期待されます。また、スポーツに関わりがなかった市民は、ボランティアなどの「ささえる」や、スポーツ観戦など「みる」への参加を含めて自発的にスポーツに親しむことが望まれます。

(2) 地域の団体（例：自治会、商店会、NPO 法人、社会福祉協議会）

市民の生活に身近な団体として地域住民が参加しやすいイベント等の開催が期待されます。また、スポーツを通じた地域における仲間づくりや交流といった人と人をつなげる取組が期待されます。

(3) スポーツ関係団体等（例：体育協会、スポーツ推進委員、スポーツボランティア、FC 東京）

市民に身近なスポーツ関係団体として、引き続きスポーツの普及、実技の指導・助言などに積極的に取り組んでいくことが期待されます。また、スポーツ振興のけん引役として、市民と地域の団体やスポーツ指導者等をつなぎ、人財をコーディネートすることが期待されます。さらに、トップアスリートの地域交流、学校訪問などを通じて、市民や児童、生徒に夢や感動を与え、スポーツの気運醸成に取り組むことが期待されます。

(4) 学校等（例：保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学）

学校体育、運動部活動等による児童・生徒及び学生の体力向上や運動習慣の定着、生涯を通じてスポーツを楽しむきっかけや土台づくりが期待されます。また、スポーツや文化等、学校で培われた知識や技能を児童や地域に還元するなど、学校体育施設等の開放を活用した交流も期待されます。

(5) 民間事業者（例：民間スポーツ施設、個人スタジオ、道場等）

民間スポーツ施設や個人スタジオ等は、設備や利用時間等に特色があり、公共のスポーツ施設との分担のもと市民によりよいスポーツ環境・サービスを提供していくことが期待されます。

(6) 小平市

スポーツを実際に「する」だけではなく、トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦など「みる」、そして指導者やスポーツボランティアなど「ささえる」といった人に着眼し、上記各主体との連携、協働のもと、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境をハード（施設等）、ソフト（イベント、指導者育成等）の両面から市内の関係各課との調整を図りつつ、市民の自発的なスポーツの推進に取り組めます。

2. 小平市のスポーツ推進のイメージ

小平市のスポーツ振興にあたっては、市民や行政だけではなく、地域の団体、スポーツ関係団体、学校、民間事業者など、様々な主体がスポーツ振興の担い手となって協働・連携して取組を進めます。



コラム3

こだ健体操



「小」「平」をイメージ

毎日の健康づくりのために、どなたでも簡単にできる体操「こだいら健康体操」(こだ健体操)は、小平市オリジナルの体操です。

こだ健体操は、足・腰の筋力強化と、全身のバランス能力向上を目的に、「新こだいら音頭 スペシャルダンスバージョン」に合わせて行います。

こだ健体操リーダー養成講座を修了した市民の方が指導者となって、こだ健体操教室を実施しています(無料)。

■問合せ

健康福祉部 健康推進課 保健指導担当 電話番号:042-346-3701

參考資料



1. 方針策定の経緯

(1) 策定経過

開催日時	内 容
平成28年 5月13日(金)	第1回第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定検討委員会 ○委員長、副委員長選任 ○第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定について ・スポーツ振興の基本方針の概要について ・基本方針策定に関わる視点の例示について ・スポーツに関する市民意識調査の調査項目(案)について ほか
平成28年 6月24日(金)	第2回第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定検討委員会 ・スポーツに関するアンケートの調査票について ・基本方針の全体構成の見直し(案)について
平成28年 7月 7日(木) ～ 7月22日(金)	小平市民のスポーツに関するアンケート調査 ・市内在住 満18歳以上の男女 2000人 回収率 45.0%
平成28年 7月22日(金)	第3回第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定検討委員会 ・基本方針の検討資料について
平成28年 9月30日(金)	第4回第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定検討委員会 ・基本方針 素案(検討資料)について ・小平市民のスポーツに関するアンケート調査の結果報告(速報版)
平成28年10月28日(金)	第5回第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定検討委員会 ・基本方針 素案について
平成28年11月21日(月) ～12月20日(火)	第二次小平市のスポーツ振興の基本方針(素案)に対する市民意見公募 手続き(パブリックコメント)
平成29年 2月10日(金)	第6回第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定検討委員会 ・第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定について ・市民意見公募手続き(パブリックコメント)の結果について ・小平市民のスポーツに関するアンケート調査結果報告書について

※庁内検討組織（課長級）

第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定調整会議 … 検討委員会資料の事前調整 6回開催

(2) 委員名簿

	区 分	氏 名	所 属
1	識見を有する者	澁谷 茂樹	公益財団法人 笹川スポーツ財団
2		◎中村 平	東京女子体育大学体育学部 教授
3	障がい者スポーツ関係者	小倉 悟	小平市社会福祉協議会
4		高山 浩久	公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会
5	学校教育関係者	星野 実	小平第二中学校 学校長
6		山田 正樹	小平第十小学校 学校長
7	社会教育関係者 (スポーツ活動)	○荒武 宗昭	一般社団法人 小平市体育協会
8		尾崎 信幸	小平市スポーツ推進委員
9	公募市民	阿部 仁	
10		後調 正則	
11		佐藤 恵子	
12		椎名 久美子	
13		夏秋 利恵	
14		渡辺 仁	

◎印は委員長、○印は副委員長（敬称略、区分ごとの50音順で表記）



策定検討委員会のようす

(3) 設置要綱

第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定検討委員会設置要綱

平成28年 4月1日 制定

(設置)

第1条 第二次小平市のスポーツ振興の基本方針(以下「方針」という。)の策定について検討を行うため、第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(検討事項)

第2条 委員会の検討事項は、次のとおりとする。

- (1) 方針の策定に関すること。
- (2) その他方針の策定に必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 委員会は、識見を有する者、学校教育関係者、社会教育関係者及び市民のうち市長が依頼する委員14人以内をもって構成する。

2 委員のうち6人以内は、公募により選任する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを選出する。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(招集)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

(会議の公開)

第6条 委員会の会議は、公開する。ただし、会議を公開することにより、公平かつ円滑な会議の運営が著しく阻害されるおそれがあるときは、委員会の議により非公開とすることができる。

2 会議の傍聴の手続、傍聴人の遵守事項その他の会議の公開に関し必要な事項は、別に定める。

(意見の聴取)

第7条 委員会は、必要に応じて検討事項に関係がある者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(設置期間)

第8条 委員会の設置期間は、設置の日から方針が策定される日までとする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、地域振興部文化スポーツ課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(施行期日)

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

2. アンケート調査概要

(1) 調査の名称

小平市民のスポーツに関するアンケート

(2) 調査の目的

本調査は、市民の運動やスポーツに対する実態の把握やこれからのスポーツ推進に対するご意見をうかがい、今年度策定する「小平市のスポーツ振興の基本方針」の基礎資料とすることを目的として実施した。

(3) 調査項目

- ① あなたご自身について
- ② スポーツの実施について
- ③ スポーツに関する情報提供について
- ④ スポーツに関するボランティアについて
- ⑤ 障がい者スポーツの認知度について
- ⑥ 市のスポーツ推進について
- ⑦ 2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会について
- ⑧ 自由意見

(4) 調査の設計

- | | |
|------------|-----------------------------|
| ① 調査地域 | 小平市全域 |
| ② 調査対象 | 小平市在住の満 18 歳以上の男女 |
| ③ 調査対象数 | 2,000 人 |
| ④ 対象者の抽出方法 | 平成 28 年7月1日現在の住民基本台帳より無作為抽出 |
| ⑤ 調査方法 | 郵送法(郵送配布・郵送回収) |
| ⑥ 調査期間 | 平成 28 年7月7日(木)～7月 22 日(金) |

(5) 回収率

発送数 2,000 件 回収数 900 件 回収率 45.0%

3. アンケート調査結果

1. あなたご自身について

F1 あなたの性別は（○は1つ）

1. 男性 397 (44.1)	2. 女性 494 (54.9)	不明 9 (1.0)
-------------------------	-------------------------	-------------------

回答数
回答の割合

F2 あなたの年齢は（○は1つ）

1. 19歳以下 19 (2.1)	2. 20～29歳 101 (11.2)
3. 30～39歳 123 (13.7)	4. 40～49歳 164 (18.2)
5. 50～59歳 165 (18.3)	6. 60～64歳 80 (8.9)
7. 65～69歳 139 (15.4)	8. 70～74歳 53 (5.9)
9. 75歳以上 50 (5.6)	不明 6 (0.7)

F3 あなたのお住まいはどの地域ですか。（○は1つ）

1. 中島町 6 (0.7)	2. 上水新町 25 (2.8)	3. たかの台 9 (1.0)
4. 小川町1丁目 73～741/2488～2599/3001～3100 44 (4.9)		
5. 小川町1丁目（上記以外） 50 (5.6)		6. 小川町2丁目 33 (3.7)
7. 栄町 20 (2.2)	8. 小川西町 34 (3.8)	9. 小川東町 44 (4.9)
10. 上水本町 59 (6.6)	11. 上水南町 40 (4.4)	12. 喜平町 19 (2.1)
13. 津田町 21 (2.3)	14. 学園東町 39 (4.3)	15. 学園西町 58 (6.4)
16. 仲町 40 (4.4)	17. 美園町 27 (3.0)	18. 回田町 24 (2.7)
19. 御幸町 19 (2.1)	20. 鈴木町 73 (8.1)	21. 天神町 33 (3.7)
22. 大沼町 50 (5.6)	23. 花小金井 92 (10.2)	24. 花小金井南町 34 (3.8)
不明 7 (0.8)		

F4 あなたの職業は次のどれにあたりますか。（○は1つ）

1. 会社員・公務員・団体職員 311 (34.6)	2. 自営業 62 (6.9)
3. 学生 60 (6.7)	4. 専業主婦（夫） 164 (18.2)
5. パート・アルバイト・派遣 147 (16.3)	6. 無職 115 (12.8)
7. その他 33 (3.7)	不明 8 (0.9)

F5 ご本人から見て、同居している家族の方は次のどれにあたりますか。

（○はいくつでも）

1. 単身（同居している家族はいない） 95 (10.6)	2. 夫または妻 579 (64.3)
3. 親（親族の同居を含む） 182 (20.2)	4. 子（成人） 206 (22.9)
5. 子（未成年） 224 (24.9)	6. 孫（成人） 5 (0.6)
7. 孫（未成年） 13 (1.4)	8. その他 35 (3.9)
不明 10 (1.1)	

F6 地域の人とどの程度関わりをもっていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 相談し合える人がいる 184 (20.4) | 2. 立ち話をする人がいる 283 (31.4) |
| 3. あいさつをする人がいる 341 (37.9) | 4. つきあいはない 88 (9.8) |
| 不明 4 (0.4) | |

F7-1 日頃の生活の中で、身体に不自由を感じることはありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. ある(障害者手帳を持っている) 30 (3.3) | 2. ある(障害者手帳はない) 88 (9.8) |
| 3. ない 763 (84.8) →F8へ | 不明 19 (2.1) |

F7-1で1または2を選んだ方におたずねします

F7-2 不自由を感じる部位はどこですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 上肢(うで・肩) 21 (17.8) | 2. 下肢(足・腰) 72 (61.0) |
| 3. 視覚・聴覚 26 (22.0) | 4. その他 23 (19.5) |
| 不明 8 (6.8) | |

すべての方におたずねします

F8 運動やスポーツをすることは好きですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 好き 339 (37.7) | 2. どちらかといえば好き 358 (39.8) |
| 3. どちらかといえば嫌い 155 (17.2) | 4. 嫌い 44 (4.9) |
| 不明 4 (0.4) | |

F9 子どもの頃、運動やスポーツをすることは好きでしたか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 好きだった 435 (48.3) | 2. どちらかといえば好きだった 232 (25.8) |
| 3. どちらかといえば嫌いだった 175 (19.4) | 4. 嫌いだった 54 (6.0) |
| 不明 4 (0.4) | |

F10 運動やスポーツを観ることは好きですか。(○は1つ) ※テレビ観戦は除く。

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 好き 395 (43.9) | 2. どちらかといえば好き 335 (37.2) |
| 3. どちらかといえば嫌い 138 (15.3) | 4. 嫌い 28 (3.1) |
| 不明 4 (0.4) | |

F11 子どもの頃、運動やスポーツを観ることは好きでしたか。(○は1つ) ※テレビ観戦は除く。

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 好きだった 327 (36.3) | 2. どちらかといえば好きだった 346 (38.4) |
| 3. どちらかといえば嫌いだった 167 (18.6) | 4. 嫌いだった 56 (6.2) |
| 不明 4 (0.4) | |

F12 自分の体力についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 自信がある 83 (9.2) | 2. どちらかといえば自信がある 360 (40.0) |
| 3. どちらかといえば自信がない 329 (36.6) | 4. 自信がない 126 (14.0) |
| 不明 2 (0.2) | |

F13 日頃、運動不足を感じていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 感じている 438 (48.7) | 2. どちらかといえば感じている 281 (31.2) |
| 3. どちらかといえば感じていない 107 (11.9) | 4. 感じていない 73 (8.1) |
| 不明 1 (0.1) | |

F14 日常生活の中で、通勤時に一駅分歩く、エレベーターを使わず階段を利用するなど、積極的に身体を動かすことを取り入れていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 可能な限り取り入れている 258 (28.7) | 2. 時々取り入れている 414 (46.0) |
| 3. 特に取り入れていない 217 (24.1) | |
| 不明 11 (1.2) | |

2. スポーツの実施について

問 1-1 あなたがこの1年間に行った運動やスポーツは何ですか。(〇はいくつでも)

1. キャッチボール、ドッジボール **71 (7.9)**
2. 体操（ラジオ体操、こだ健体操、職場体操、ヨガ、エアロビクス、縄跳びを含む）
352 (39.1)
3. ウォーキング（歩け歩け運動、散歩などを含む） **519 (57.7)**
4. ダンス（フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊り、車いすダンスを含む）
52 (5.8)
5. ボウリング **112 (12.4)**
6. ニュースポーツ（ユニカール、ミニテニス、グラウンドゴルフ、インディアカなどを含む）
9 (1.0)
7. ランニング（ジョギング） **111 (12.3)**
8. 水泳（水中ウォーキング・水中エアロビクスを含む） **118 (13.1)**
9. 室内運動器具を使ってする運動（トレーニングルームなど） **111 (12.3)**
10. スキー、スノーボード **75 (8.3)**
11. スケート（氷上・陸上） **8 (0.9)**
12. 登山（クライミングを含む） **67 (7.4)**
13. キャンプ、オートキャンプ **40 (4.4)**
14. ハイキング、ワンダーフォーゲル、オリエンテーリング **80 (8.9)**
15. ボート、ヨット、ダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、釣り **46 (5.1)**
16. ゴルフ、ターゲットバードゴルフ **74 (8.2)**
17. グライダー、ハンググライダー、スカイダイビング、パラグライダー **4 (0.4)**
18. サイクリング、モーター（サイクル）スポーツ **100 (11.1)**
19. 陸上競技 **11 (1.2)**
20. 柔道、剣道、空手、すもう、ボクシング、レスリング、居合道、合気道、太極拳、
少林寺拳法 **23 (2.6)**
21. 弓道、アーチェリー **3 (0.3)**
22. 野球、ソフトボール **38 (4.2)**
23. サッカー、フットサル（ブラインドサッカー等を含む）、ラグビー **61 (6.8)**
24. バレーボール、バスケットボール
（シットイングバレーボール、車椅子バスケットボール等を含む） **39 (4.3)**
25. テニス、ソフトテニス、バウンドテニス（車いすテニス等を含む）、バドミントン、
卓球 **103 (11.4)**
26. その他 **26 (2.9)**
27. スポーツや運動はしなかった **112 (12.4)**

⇒問 2 へ

⇒問 1-2 へ

問 1 で 1～26 のいずれかを選んだ方におたずねします

問 1-2 その運動やスポーツを行った日数を全て合わせると、1 年間にどの程度になりますか。(〇は1つ)

- | | |
|---|-------------------|
| 1. 週に 3 日以上 (年 151 日以上) 190 (24.1) | |
| 2. 週に 2 日 (年 101 日～150 日) 124 (15.7) | |
| 3. 週に 1 日 (年 51 日～100 日) 161 (20.4) | |
| 4. 月に 1～3 日 (年 12 日～50 日) 153 (19.4) | |
| 5. 3 ヶ月に 1～2 日 (年 4 日～11 日) 72 (9.1) | |
| 6. 年に 1～3 日 54 (6.8) | |
| 7. わからない 32 (4.1) | 不明 4 (0.5) |

問 1-3 あなたが運動やスポーツを行ったのはどのような理由からですか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 体力増進・健康づくりのため 415 (52.5) | 2. 楽しみ、ストレス解消として 376 (47.6) |
| 3. 運動不足を感じるから 364 (46.1) | 4. 精神を鍛えるため 32 (4.1) |
| 5. 自己の記録や能力を向上させるため 49 (6.2) | 6. 家族のふれあいとして 97 (12.3) |
| 7. 友人・仲間との交流として 205 (25.9) | 8. その他 51 (6.5) |
| 不明 6 (0.8) | |

問 1-4 運動やスポーツを比較的よく行う時間帯はいつですか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 平日早朝 52 (6.6) | 2. 平日午前 170 (21.5) |
| 3. 平日午後 88 (11.1) | 4. 平日夕方～夜間 88 (11.1) |
| 5. 休日早朝 27 (3.4) | 6. 休日午前 98 (12.4) |
| 7. 休日午後 67 (8.5) | 8. 休日夕方～夜間 15 (1.9) |
| 9. 特に決まっていない 150 (19.0) | 10. ほとんどしない 29 (3.7) |
| 不明 6 (0.8) | |

問 1-5 普段、どんな場所で運動やスポーツを行っていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 自宅 195 (24.7) | |
| 2. 公園、広場、遊歩道 339 (42.9) | |
| 3. 市立の学校施設 (校庭、体育館など) 31 (3.9) | |
| 4. 市内の公共施設 126 (15.9) | |
| 5. 市内の民間施設 69 (8.7) | |
| 6. 市外の公共施設 87 (11.0) | |
| 7. 市外の民間施設 99 (12.5) | |
| 8. 職場・在学先にあるスポーツ施設 68 (8.6) | |
| 9. その他 95 (12.0) | 不明 16 (2.0) |

問 1-6 今以上に運動やスポーツを行う機会を増やしたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|--|--------------------|
| 1. 増やしたいし、増やすことができる 212 (26.8) | |
| 2. 増やしたいが、増やすことができない 400 (50.6) | |
| 3. 増やす気はない 166 (21.0) | 不明 12 (1.5) |

問 1 で 27 を選んだ方におたずねします

問2 運動やスポーツをしなかったのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|-------------------|
| 1. 仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから 48 (42.9) | |
| 2. 身体が弱いから 7 (6.3) | |
| 3. 年をとったから 18 (16.1) | |
| 4. 場所や施設がないから、遠いから 15 (13.4) | |
| 5. 仲間がいないから 11 (9.8) | |
| 6. 指導者がいないから 1 (0.9) | |
| 7. お金がかかるから 16 (14.3) | |
| 8. 運動・スポーツが好きではないから 19 (17.0) | |
| 9. その他 15 (13.4) | |
| 10. 特に理由はない 17 (15.2) | 不明 3 (2.7) |

すべての方におたずねします

問3-1 自分の好きな運動やスポーツのクラブ、同好会などがあれば、あなたは加入したいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 既に参加している 153 (17.0) | 2. 参加したいと思う 274 (30.4) |
| 3. 参加したいとは思わない 263 (29.2) | 4. わからない 196 (21.8) |
| 不明 14 (1.6) | |

⇒問 4-1 へ

問 3-1 で 1 または 2 を選んだ方におたずねします

問3-2 それは、どのようなクラブや同好会などですか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 職場のクラブや同好会 41 (9.6) |
| 2. 学校の部活動や同好会 40 (9.4) |
| 3. 地域のクラブや同好会、協会など 262 (61.4) |
| 4. 民間スポーツ施設などが開設している会員制のクラブ 145 (34.0) |
| 5. その他 25 (5.9) |
| 不明 18 (4.29) |

すべての方におたずねします

問4-1 あなたは、この1年間に、スポーツイベント、大会等に参加したことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 参加したことがある 133 (14.8) | 2. 参加していない 745 (82.8) →問 5 へ |
| 不明 22 (2.4) | |

⇒問 4-2 へ

問 4-1 で 1 を選んだ方におたずねします

問 4-2 それは、どのようなスポーツイベント、大会でしたか。(〇はいくつでも)

1. 市が主催するイベントや大会（ニュースポーツデー、市民スポーツ大会など） **29 (21.8)**
2. 地域で主催するイベントや大会（町会、高齢者クラブ等が行う運動会など） **13 (9.8)**
3. 職場（会社）主催のイベントや大会 **22 (16.5)**
4. 民間スポーツ団体主催のイベントや大会 **59 (44.4)**
5. 学校主催のイベントや大会（子どもの運動会など） **25 (18.8)**
6. その他 **18 (13.5)**
- 不明 **0 (0)**

すべての方におたずねします

問 5 今後どのようなスポーツイベント、大会に参加したいと思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 日頃の練習の成果を発揮できるイベントや大会 **107 (11.9)**
2. 地域住民と交流を深めるイベントや大会 **152 (16.9)**
3. いろいろな種目を楽しめるイベントや大会 **97 (10.8)**
4. 健康づくりや体力の向上のためのイベントや大会 **326 (36.2)**
5. 家族や友達と参加できるイベントや大会 **230 (25.6)**
6. 初心者を対象としたイベントや大会 **204 (22.7)**
7. 有名スポーツ選手の講演やスポーツ教室 **122 (13.6)**
8. その他 **15 (1.7)**
9. 参加したいと思わない **254 (28.2)**
- 不明 **13 (1.4)**

3. スポーツに関する情報提供について

問6 運動やスポーツに関する市の情報をどのように入手していますか。

(〇はいくつでも)

1. 市報こだいら **449 (49.9)**
2. 市のホームページ **84 (9.3)**
3. 町会・自治会回覧や掲示板 **44 (4.9)**
4. 家族、知人、友人からの紹介 **107 (11.9)**
5. 市の施設などのチラシやパンフレット **98 (10.9)**
6. 所属クラブ・団体などを通じて **47 (5.2)**
7. 個人や団体のホームページ **26 (2.9)**
8. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ **86 (9.6)**
9. SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス：Facebook、Twitter 等のサービス）
62 (6.9)
10. その他 **9 (1.0)**
11. 特に入手していない **312 (34.7)**
12. わからない **26 (2.9)**
- 不明 **5 (0.6)**

問7 運動やスポーツに関する市の情報としてどのような内容が知りたいですか。

(〇はいくつでも)

1. 大会やイベントの情報 **187 (20.8)**
2. スポーツ教室の情報 **282 (31.3)**
3. クラブ、サークルの活動 **199 (22.1)**
4. 施設の利用案内 **348 (38.7)**
5. 市民の各種スポーツ大会での活躍 **40 (4.4)**
6. 運動やスポーツの紹介 **133 (14.8)**
7. 健康づくりに関する情報 **310 (34.4)**
8. その他 **9 (1.0)**
9. 特に知りたい情報はない **178 (19.8)**
- 不明 **31 (3.4)**

4. スポーツに関するボランティアについて

問 8-1 あなたは、この 1 年間に、運動やスポーツ、昔あそび（学校支援含む）などの指導や大会の運営などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。
（〇はいくつでも）

- | |
|---|
| 1. 市が主催するイベントや大会（ニュースポーツデー、市民スポーツ大会など）の運営や手伝い 13 (1.4) |
| 2. 地域で主催するイベントや大会（町会、高齢者クラブ等が行う運動会など）の運営や手伝い 11 (1.2) |
| 3. 学校が主催するイベントや大会（子どもの運動会など）の運営や手伝い 18 (2.0) |
| 4. 学校の部活動や少年スポーツ団体、昔あそび（学校支援含む）などの指導や手伝い 19 (2.1) |
| 5. 所属するクラブや同好会、協会などの運営や手伝い 17 (1.9) |
| 6. その他 9 (1.0) |
| 7. 行っていない 806 (89.6) →問 9 へ
不明 28 (3.1) |

問 8-1 で 1～6 のいずれかを選んだ方におたずねします

問 8-2 スポーツに関するボランティア活動を行った理由はなんですか。

（〇はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 好きなスポーツの普及・支援のため 25 (37.3) |
| 2. 地域での居場所、役割、生きがいのため 16 (23.9) |
| 3. 出会い・交流の場として 16 (23.9) |
| 4. 指導・大会運営スキルの取得・活用のため 6 (9.0) |
| 5. 社会貢献のため 21 (31.3) |
| 6. 顕彰や表彰のため 1 (1.5) |
| 7. その他 11 (16.4) |
| 8. わからない 1 (1.5) |
| 不明 2 (3.0) |

5. 障がい者スポーツの認知度について

すべての方におたずねします

問9 この中に、あなたが知っている、または聞いたことがある障がい者スポーツの用語はありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. パラリンピック 868 (96.4) | 2. デフリンピック 27 (3.0) |
| 3. スペシャルオリンピックス 52 (5.8) | 4. ボッチャ 69 (7.7) |
| 5. ゴールボール 74 (8.2) | 6. ウィルチェアラグビー 57 (6.3) |
| 7. 車いすテニス 755 (83.9) | 8. シットイングバレーボール 73 (8.1) |
| 9. 車椅子バスケットボール 739 (82.1) | 10. 車いすダンス 243 (27.0) |
| 11. ブラインドサッカー 448 (49.8) | 12. サウンドテーブルテニス 32 (3.6) |
| 13. ふうせんバレーボール 68 (7.6) | 14. その他 6 (0.7) |
| 15. 知らない 11 (1.2) | 不明 19 (2.1) |

問 10-1 あなたはこの1年間に障がい者スポーツを直接見た事がありますか。

(〇は1つ)

1. はい **36 (4.0)**

2. いいえ **842 (93.6)** →問 11 へ

不明 **22 (2.4)**

問 10-1 で 1 を選んだ方におたずねします

問 10-2 あなたがこの1年間に直接見た障がい者スポーツの種目名をお書きください。

※報告書をご覧ください

6. 市のスポーツ推進について

すべての方におたずねします

問 11 市のスポーツを支える人、団体、制度について、知っているものはどれですか。
(〇はいくつでも)

1. スポーツ推進委員 **123 (13.7)**
2. スポーツボランティア派遣制度 **30 (3.3)**
3. 小平市体育協会 **253 (28.1)**
4. 小・中学校の学校施設スポーツ開放 **235 (26.1)**
5. 知っているものはない **462 (51.3)**
- 不明 **29 (3.2)**

問 12 あなたがスポーツを行うために利用したことのある公共施設はどれですか。
(〇はいくつでも)

1. 市民総合体育館（体育室） **247 (27.4)**
2. 市民総合体育館（トレーニング室） **107 (11.9)**
3. 市民総合体育館（温水プール） **207 (23.0)**
4. 萩山公園グラウンド **43 (4.8)**
5. 大沼グラウンド **35 (3.9)**
6. 天神グラウンド **41 (4.6)**
7. 中央公園グラウンド **118 (13.1)**
8. 小川西グラウンド **40 (4.4)**
9. 上水公園テニスコート **48 (5.3)**
10. 中央公園テニスコート **43 (4.8)**
11. 天神テニスコート **36 (4.0)**
12. 萩山公園プール **115 (12.8)**
13. 東部公園プール **167 (18.6)**
14. 小川町二丁目市民広場 **1 (0.1)**
15. 福社会館前市民広場 **11 (1.2)**
16. 花小金井南市民広場 **16 (1.8)**
17. 花小金井四丁目市民広場 **9 (1.0)**
18. 花小金井武道館 **24 (2.7)**
19. きつねっばら公園子どもキャンプ場 **13 (1.4)**
20. 学校開放を行っている市立小・中学校 **85 (9.4)**
21. 近隣自治体の施設 **35 (3.9)**
22. その他 **22 (2.4)**
23. 利用した施設はない **314 (34.9)**
- 不明 **31 (3.4)**

問 13-1 あなたが最もよく利用している市のスポーツ施設を問 12 の選択肢から1つ選び、番号をお答えください。

1. 市民総合体育館（体育室） **82 (9.1)**
2. 市民総合体育館（トレーニング室） **45 (5.0)**
3. 市民総合体育館（温水プール） **76 (8.4)**
4. 萩山公園グラウンド **7 (0.8)**
5. 大沼グラウンド **9 (1.0)**
6. 天神グラウンド **7 (0.8)**
7. 中央公園グラウンド **49 (5.4)**
8. 小川西グラウンド **6 (0.7)**
9. 上水公園テニスコート **11 (1.2)**
10. 中央公園テニスコート **4 (0.4)**
11. 天神テニスコート **14 (1.6)**
12. 萩山公園プール **20 (2.2)**
13. 東部公園プール **57 (6.3)**
14. 小川町二丁目市民広場 **1 (0.1)**
15. 福社会館前市民広場 **2 (0.2)**
16. 花小金井南市民広場 **6 (0.7)**
17. 花小金井四丁目市民広場 **2 (0.2)**
18. 花小金井武道館 **7 (0.8)**
19. きつねっばら公園子どもキャンプ場 **1 (0.1)**
20. 学校開放を行っている市立小・中学校 **35 (3.9)**
21. 近隣自治体の施設 **21 (2.3)**
22. その他 **11 (1.2)**
23. 利用した施設はない **39 (4.3)**
- 不明 **392 (43.6)**

問 13-1 で 1～22 のいずれかを選んだ方におたずねします

問 13-2 問 13-1 で選んだ施設について、満足していますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 満足 115 (24.5) | 2. やや満足 207 (44.1) |
| 3. やや不満 59 (12.6) | 4. 不満 36 (7.7) |
| 5. わからない 38 (8.1) | 不明 14 (3.0) |

問 13-2 で 3 または 4 を選んだ方におたずねします

問 13-3 不満と答えた理由はなんですか。ご自由にお書きください。

※報告書をご覧ください

すべての方におたずねします

問 14 今後スポーツを推進するために、市はどのようなことに重点をおいて取り組んでいくべきとお考えですか。(〇はいくつでも)

1. 幼少期からのスポーツ・運動体験の充実 **384 (42.7)**
2. 小・中学校でのスポーツ、運動体験の充実 **293 (32.6)**
3. 中学校の運動部活動の充実 **146 (16.2)**
4. 初心者向けのスポーツ教室の充実 **269 (29.9)**
5. 中高年者のスポーツ活動の推進 **280 (31.1)**
6. 障がい者のスポーツ活動の推進 **143 (15.9)**
7. 子育てとスポーツ活動の両立 **143 (15.9)**
8. 指導者の育成と活用 **148 (16.4)**
9. スポーツボランティアの育成・支援 **115 (12.8)**
10. スポーツを通じた交流の推進 **138 (15.3)**
11. 各種スポーツ大会やイベントの開催 **114 (12.7)**
12. トップアスリートとの交流事業の充実 **126 (14.0)**
13. 競技力の向上 **49 (5.4)**
14. スポーツ施設の整備・充実 **296 (32.9)**
15. スポーツ情報の提供 **164 (18.2)**
16. その他 **51 (5.7)**
- 不明 **51 (5.7)**

7. 2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会について

問 15 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機として、あなたが期待することはなんですか。(〇はいくつでも)

1. 子どものスポーツ機会や環境が充実する **389 (43.2)**
2. 障がいのある人のスポーツ機会や環境が充実する **312 (34.7)**
3. 国によるトップアスリートの強化が充実する **201 (22.3)**
4. スポーツを通じて、住民が地域づくりへ参加する機会が増える **137 (15.2)**
5. 競技場などのスポーツ施設の整備が進む **259 (28.8)**
6. 日本の国際的地位が向上する **126 (14.0)**
7. 東日本大震災等の被災地の復興支援が加速する **165 (18.3)**
8. 経済が活性化する **398 (44.2)**
9. 外国人観光客が増える **169 (18.8)**
10. 『文化・国籍などを越え、フェアプレーの精神をもって理解しあえる平和でよりよい世界が実現する』というオリンピックの理念が浸透する **208 (23.1)**
11. その他 **51 (5.7)**
- 不明 **40 (4.4)**

問 16-1 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、運営補助などのボランティア活動に参加したいと思いますか。(〇は1つ)

1. 是非参加したい **50 (5.6)**
2. できれば参加したい **245 (27.2)**
3. あまり参加したいとは思わない **175 (19.4)**
4. 全く参加したいとは思わない **174 (19.3)**
5. わからない **240 (26.7)**
- 不明 **16 (1.8)**

問 16-1 で 3 または 4 を選んだ方におたずねします

問 16-2 参加したいと思わないと答えた理由はなんですか。ご自由にお書きください。

※報告書をご覧ください

すべての方におたずねします

問 17 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、小平市に期待することはなんですか。(〇はいくつでも)

1. 大会に向けてのイベントの充実 **188 (20.9)**
2. 小平市の PR **186 (20.7)**
3. スポーツボランティア活動の充実 **162 (18.0)**
4. 語学・観光ボランティアの育成 **185 (20.6)**
5. 国際交流の推進 **232 (25.8)**
6. バリアフリー・障がい者理解の推進 **257 (28.6)**
7. スポーツの振興 **241 (26.8)**
8. 文化芸術の推進 **96 (10.7)**
9. オリンピック・パラリンピックの教育活動の推進 **111 (12.3)**
10. その他 **22 (2.4)**
11. 特にない **173 (19.2)**
- 不明 **20 (2.2)**

4. スポーツ施設一覧

	施設名	所在地	施設概要
(5か所) グラウンド	萩山公園グラウンド	小川東町 4 丁目 4 番 1 号	野球、サッカーなど
	大沼グラウンド	大沼町 5 丁目 1 番 1 号	少年野球、ソフトボールなど
	天神グラウンド	天神町 4 丁目 12 番 1 号	野球など
	中央公園グラウンド	津田町 1 丁目 1 番 1 号	野球、サッカー(100m×68m)、陸上(400m×6コース)など(ナイター設備あり)
	小川西グラウンド	小川西町 5 丁目 8 番 1 号	野球(レフト約 87m、ライト約 92m)、サッカー(90m×50m)など(ナイター設備あり)
(3か所) テニスコート	上水公園テニスコート	たかの台 1 番 1 号	4 面:砂入り人工芝コート、 1 面:ハードコート、ナイター設備あり
	中央公園テニスコート	津田町 1 丁目 1 番 1 号	4 面:砂入り人工芝コート
	天神テニスコート	天神町 4 丁目 12 番 1 号	3 面:砂入り人工芝コート、ナイター設備あり
(2か所) 屋外プール	萩山公園プール	小川東町 4 丁目 4 番 1 号	50 メートルプール・幼児用プール
	東部公園プール	花小金井 6 丁目 13 番 1 号	流れるプール、25 メートルプール、幼児用プール
(4か所) 市民広場	福祉会館前市民広場	学園東町 1 丁目 19 番 14 号	高齢者のゲートボールや、子どもたちのボール遊び、レクリエーションの場に地域の身近な多目的広場としてご利用ください。 ※野球・サッカーは禁止です。
	花小金井南市民広場	花小金井南町 2 丁目 12 番 17 号	
	小川町二丁目市民広場	小川町 2 丁目 2057 番地	
	花小金井四丁目市民広場	花小金井 4 丁目 27 番 8 号	
武道館	花小金井武道館	花小金井 8 丁目 26 番 15 号	柔道場、剣道場、弓道場(卓球、軽体操、アーチェリー、ダンスなど)
総合体育館	市民総合体育館	津田町 1 丁目 1 番 1 号	○第 1 体育室:バドミントン 10 面、バレーボール 3 面、バスケットボール 2 面、卓球 24 台、その他 ○第 2 体育室:バドミントン 4 面、バレーボール 1 面、バスケットボール 1 面、卓球 12 台、その他 ○第 3 体育室:剣道、空手、少林寺拳法、居合道、その他 ○第 4 体育室:柔道、合気道、その他 ○第 5 体育室:軽体操、ジャズダンス、その他 ○トレーニング室:ランニングマシン、エルゴメーター、ローイングマシン、レッグプレス、乗馬フィットネス、その他 ○弓道場:和弓、アーチェリー ○温水プール:25 メートル×12 メートル、水深 1.0～1.2 メートル
子どもキャンプ場	きつねっぱら公園 子どもキャンプ場	小川町 1 丁目 3005 番地	炊事場(調理台、流し台、かまど)、トイレ、手足洗い場、倉庫、あずまや、ファイヤーサークル、外灯、駐車場、駐輪場
一般開放 民間スポーツ施設	三菱電機ビルテクノサービス テニスコート	花小金井 7 丁目 16 番 1 号	砂入り人工芝 1 面
	三菱電機ビルテクノサービス 体育館		バレーボール・バドミントン・バスケットボール・卓球
	東京ガス武蔵野苑 グラウンド (FC東京小平グラウンド)	大沼町 3 丁目 14 番 1 号	メイングラウンド(サッカー場) サブグラウンド(フットサル場)

第二次小平市のスポーツ振興の基本方針
平成 28 年度

編集・発行 小平市地域振興部文化スポーツ課

〒187-8701 東京都小平市小川町 2-1333

TEL 042-346-9612

FAX 042-346-9575

E-Mail cdc0020@city.kodaira.lg.jp